

平成 28 年 3 月 31 日

新潟市中央区自治協議会
会 長 豊嶋 直美 様

新潟市中央区自治協議会
水辺とみなとのまち部会
座 長 藤田 孝一

平成 27 年度開港 150 周年記念事業等調査について

標記の件について、別添のとおり報告いたします。

平成 27 年度
開港 150 周年記念事業等調査

報 告 書

平成 28 年 3 月

新潟市中央区自治協議会
水辺とみなとのまち部会

平成 27 年度 開港 150 周年記念事業等調査 報告書

目 次

■開港 150 周年記念事業等調査の概要.....	1
■開港 150 周年記念事業等に関するアンケート調査結果.....	2
1. 開港記念事業等の「企画・準備」全般について.....	4
2. 開港記念事業等の「主要事業」と「関連事業」について.....	8
3. 開港記念事業等の「当日運営」全般について.....	14
4. 開港記念事業等の「波及効果」や「今後の課題」について.....	15
5. 「新潟港開港 150 周年記念事業の開催」について.....	20
6. 近年実施された開港記念事業等の「概要」.....	22
■アンケート調査結果を受けた、今後の課題など.....	35
■資料編	
開港 4 都市用 アンケート依頼文・アンケート調査票	
開港記念事業等実施の 34 市用 アンケート依頼文・アンケート調査票	

開港 150 周年記念事業等調査の概要

1. 調査の目的

新潟港開港 150 周年に向けて、他都市における開港関連の取り組みの特徴や課題などを学ぶ。

2. 調査の視点

本調査は平成 26 年度に提言を行った「北前船時代の新たな街並みづくり」を受けて、その中の「開港 150 周年に向けた取り組み」の一貫（スタート）として行うものである。以下の 3 点を調査の視点として、設問設計を行った。

①新潟ならではの特徴のアピール

新潟の歴史や文化、風土、食、人材などを掘り下げ、既存の様々な取り組みや活動のサポートの他、新たな取り組みの喚起などにより、新潟の特徴を磨き上げていくため、その土地ならではの特徴的な取り組み、まちづくりへの波及効果などを調査する。

②市民参加による協働の意識・意欲の醸成

まちづくりをはじめ様々な取り組みにおいて、市民参加はもちろん、市民による自律的な取り組みを進めるため、市民参加の状況、行政や関係機関との協働・連携体制、機運醸成や事後持続の方策などを調査する。

③次世代の育成

新潟のまちづくりを将来的に担い、持続可能な都市経営や豊かな市民の暮らしにつなげていくため、未来世代である子どもたちに地域との関わりを持ってもらうため、子ども向けの教育や演出などについて調査する。

3. 設問項目

開港 4 都市と開港記念事業等実施の 34 市^{*}には、以下のとおり共通の設問を設け、開港 4 都市にはさらに詳しい記述式の設問を追加することとした。

設問項目	開港 4 都市	開港記念事業等 実施の 34 市
[1] 開港記念事業等の概要	共通	
[2] 開港記念事業等の企画・準備について	3 問	3 問
[3] 開港記念事業等の実施事業について	3 問	2 問
[4] 開港記念事業等の当日運営について	3 問	1 問
[5] 開港記念事業等の波及効果や今後の課題について	4 問	3 問
[6] 新潟港開港 150 周年記念事業の開催について	2 問	1 問
[7] ご回答者について（部署・担当者名・連絡先）	共通	

^{*}20 市のサンプルを確保するため、回収率 6 割を想定し、インターネット調べにより 34 市を抽出。

開港150周年記念事業等に関するアンケート調査結果

■アンケート実施状況

調査期間 : 平成28年1月15日～平成28年2月3日(〆切り後到着分も含む)
 対象 : 新潟市を除いた開港4都市および開港記念事業等を実施している34自治体
 実施方法 : 郵送配布・郵送回収、メール回答
 配布数 : 38 通
 回答数 : 32 通 (有効回答 31 通)
 回収率 : 84.2 %

■回答先一覧

<開港4都市>

	自治体名	回答	事業名称
1	北海道函館市	○	函館開港150周年記念事業
2	神奈川県横浜市	○	横浜開港150周年記念テーマイベント「開国・開港Y150」
3	兵庫県神戸市	○	神戸港開港150周年記念事業(平成29年1月～実施予定)
4	長崎県長崎市	○	「長崎開港記念行事」、「ながさきみとまつり」
	計	4	

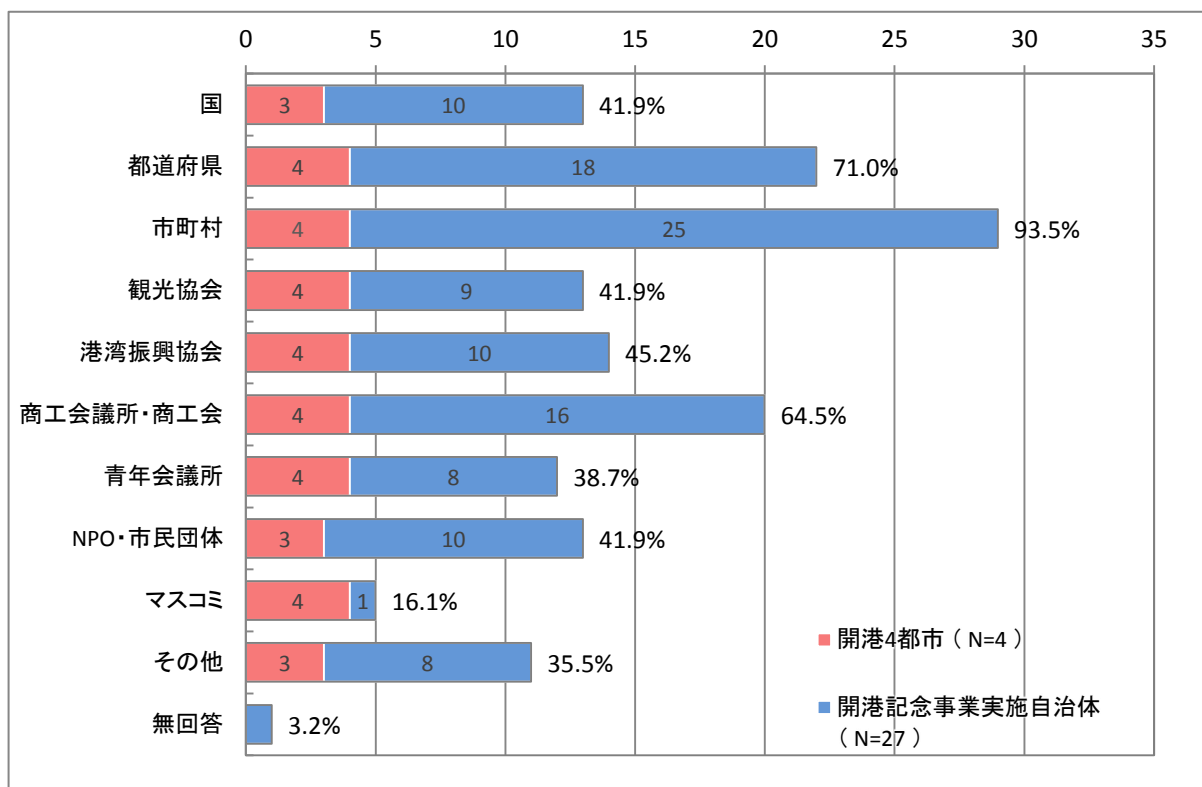
<開港記念事業等の実施自治体>

	自治体名	回答	事業名称
1	北海道小樽市	○	小樽港開港100周年記念事業
2	北海道室蘭市	—	—
3	北海道苫小牧市	—	—
4	北海道根室市	—	—
5	北海道石狩市	○	石狩湾新港開港20周年記念事業
6	岩手県宮古市	○	宮古港開港400周年記念事業
7	秋田県男鹿市	○	船川港築港100周年記念事業
8	福島県いわき市	○	小名浜「胃・飾・縦」プロジェクト (平成28年度実施予定)
9	山形県酒田市	○	酒田港開港500周年記念事業
10	新潟県糸魚川市	○	姫川港開港40周年記念事業
11	新潟県佐渡市	○	小木港開港四百年記念式典・祝賀会
12	富山県高岡市	○	伏木港は魅力いっぱい船いっぱい！港で働く船大集合
13	石川県金沢市	—	—
14	石川県七尾市	○	七尾港開港110周年事業
15	福井県敦賀市	○	敦賀港開港110周年記念シンポジウム
16	神奈川県横須賀市	○	横須賀港開港150周年記念 帆船「日本丸」招致事業
17	神奈川県三浦市	○	三崎開港祭
18	静岡県静岡市	○	清水港100周年記念事業
19	静岡県下田市	○	黒船祭(くろふねさい)
20	愛知県名古屋	○	名古屋港開港100周年記念事業
21	兵庫県姫路市	○	姫路港開港50周年記念事業
22	京都府舞鶴市	○	京都舞鶴港築港100周年記念 帆船「日本丸」寄港
23	京都府宮津市	—	—
24	岡山県倉敷市	○	水島港開港50周年記念行事
25	岡山県玉野市	○	宇野港築港100周年記念事業
26	広島県広島市	○	宇品築港記念式典
27	山口県下関市	○	馬関港開港150周年記念行事
28	山口県岩国市	○	岩国港築港200年
29	愛媛県今治市	○	今治港開港90周年記念事業
30	福岡県北九州市	○	北九州港開港120周年記念事業
31	福岡県福岡市	△	博多港では、近年実施した開港記念事業はございませんので、詳細はわかりかねます。
32	福岡県大牟田市	○	三池港開港100周年事業
33	大分県大分市	○	大分港開港50周年記念事業
34	長崎県南島原市	—	—
	計	28	

■実行委員会の構成団体等

選択肢	回答数	割合
1. 国	13	41.9%
2. 都道府県	22	71.0%
3. 市町村	29	93.5%
4. 観光協会	13	41.9%
5. 港湾振興協会	14	45.2%
6. 商工会議所・商工会	20	64.5%
7. 青年会議所	12	38.7%
8. NPO・市民団体	13	41.9%
9. マスコミ	5	16.1%
10. その他	11	35.5%
無回答	1	3.2%
計	153	

※ 割合(%)は有効回答数に占める割合を表示。



< その他の内容 >

横浜市	自治会、町内会、連合会ほか
長崎市	長崎魚市
小樽市	市議会、漁組等
石狩市	企業協議会、農協、漁協
宮古市	漁協、鉄道会社、農協、地元企業など
いわき市	関連事業者
静岡市	港湾関連各種団体
名古屋市	名古屋港利用促進協議会等
倉敷市	コンビナート企業
大牟田市	協議会(上記団体含む)

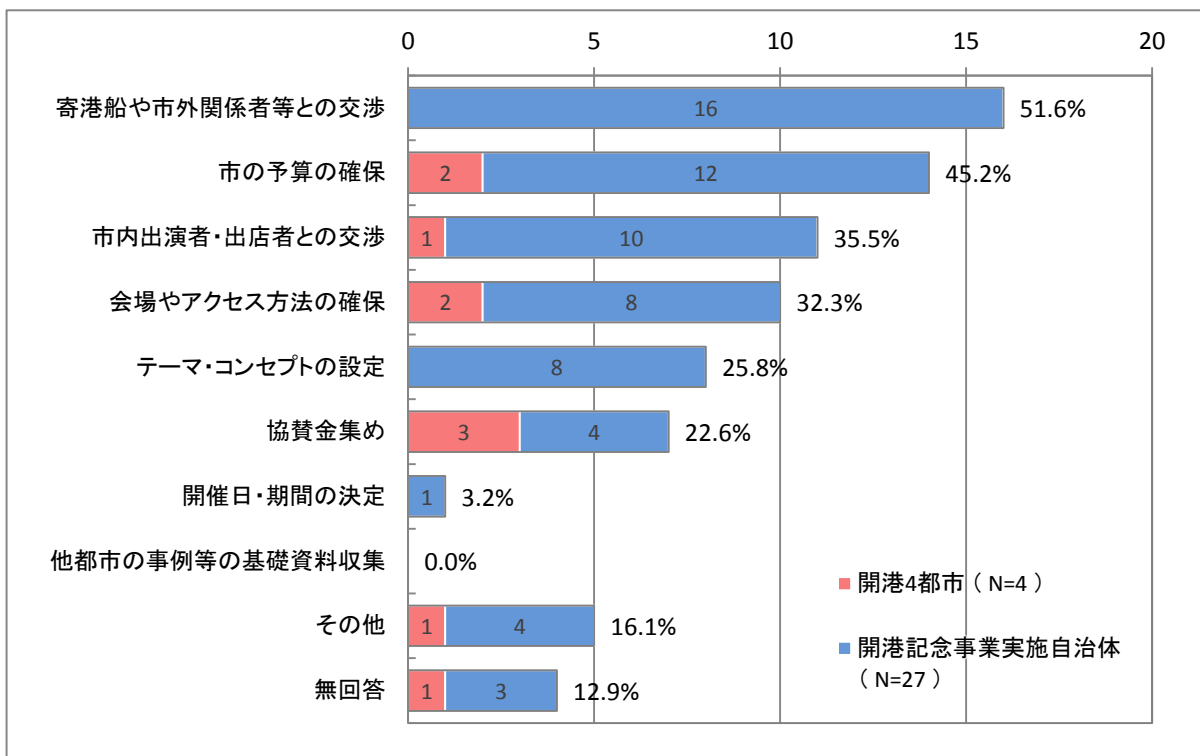
1. 開港記念事業等の「企画・準備」全般について

問1. 企画・準備段階で、特に苦労したのはどのようなことですか？

【特にあてはまるもの3つに〇】

全体では「寄港船や市外関係者等との交渉」(51.6%)が最も多く、次いで「市の予算の確保」(45.2%)、「市内出演者・出店者との交渉」(35.5%)が多い。
開港4都市では「協賛金集め」が多くなっている。

選択肢	回答数	割合
1. テーマ・コンセプトの設定	8	25.8%
2. 開催日・期間の決定	1	3.2%
3. 寄港船や市外関係者等との交渉	16	51.6%
4. 市内出演者・出店者との交渉	11	35.5%
5. 会場やアクセス方法の確保	10	32.3%
6. 市の予算の確保	14	45.2%
7. 協賛金集め	7	22.6%
8. 他都市の事例等の基礎資料収集	0	0.0%
9. その他	5	16.1%
無回答	4	12.9%
計	76	



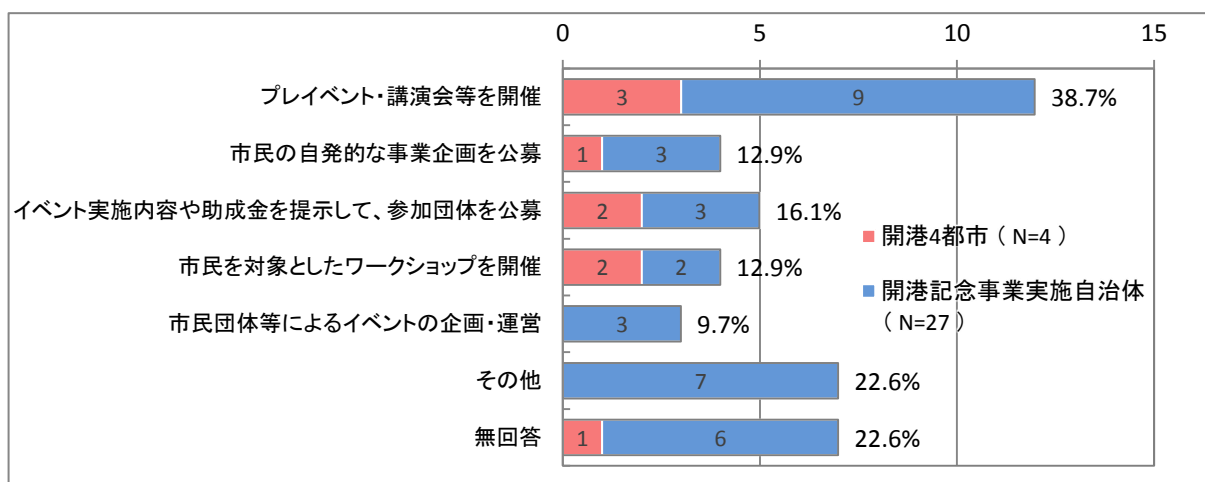
< その他の内容 >

函館市	ボランティアの確保・ハンドリング。
小樽市	残念ながら当時の状況は分かりません。 しかし、当時から市財政は厳しい状況にあり、予算の確保には苦労したと思われます。
宮古市	業務を遂行するための人員の確保。
敦賀市	国・県との調整。
広島市	予算内での運営。

問2. 開催には市民の理解・協力が不可欠だと考えています。
市民の主体的参加を進めるために、どのようなことを行いましたか？
工夫した点があればお聞かせください。 【あてはまるものすべてに○】

全体では「プレイベント・講演会等を開催し、港や歴史に対する理解を深めてもらった」（38.7%）が最も多く、開港4都市でも同様である。

選択肢	回答数	割合
1. プレイベント・講演会等を開催し、港や歴史に対する理解を深めてもらった	12	38.7%
2. 市民を対象としたワークショップを開催し、内容を検討した	4	12.9%
3. 市民の自発的な事業企画を公募した(プロポーザル提案など)	4	12.9%
4. イベント実施内容や助成金を提示して、参加団体を公募した	5	16.1%
5. 市民団体等にあらかじめ予算分配を行い、イベントを企画・運営してもらった	3	9.7%
6. その他	7	22.6%
無回答	7	22.6%
計	42	



< その他の内容 >

男鹿市	市広報や市民が参加する各種会議等で事業計画を説明し、協力、参加、ボランティアスタッフへの登録の呼びかけを行った。
糸魚川市	市内の関係団体の方から実行委員会へ入ってもらって運営した。
佐渡市	実行委員会の立ち上げ、企画・運営を実施。
高岡市	みなとまち伏木の歴史文化のシンボルとなる北前船の模造船を製作した。
横須賀市	地元町内会・商店会への説明及び協力依頼。
倉敷市	広報誌等を活用したPR。
広島市	明治23年(1890年)から毎年実施されており、すでに地元根深く根付いた行事となっている。

■工夫した点

函館市	基本的には、基本計画の策定段階から市民にボランティアに参画してもらい、ワークショップなどを開催し、イベントなどの事業イメージを確立し、事業の運営やサイト運用などを市民ボランティアに担ってもらった。
横浜市	市民の主体的な参加による企画を行うため、「市民創発プロジェクト」を実施。2年以上かけてWS形式で企画から準備、設営、運営までを市民が主体に行った。 (参加出演者人数17,928人、182プロジェクト)
石狩市	多数の市民団体等に実行委員会メンバーとして参加いただいた。
いわき市	市制施行と開港とを連動させたことで、市民の理解を得られた(プレゼン大会の成果)。
高岡市	地元園児によりシンボル船の帆柱起し及び帆の引き揚げを行ってもらった。
七尾市	日本丸寄港時の出港アトラクションに地元保育園のマーチングバンドを、ばしふいっくびいなすのアトラクションにはジュニアジャズアカデミーの演奏や子ども太鼓に依頼し、若い世代を巻き込んだ取り組みを行った。
静岡市	中学生から大人まで、一般公募による様々な立場の人たちが一年半にわたるワークショップや自主研究、中高生研究活動を通して、21世紀の清水港のあり方を研究し、シンポジウムにおいて成果発表を行った。
名古屋市	マスコットキャラクターを活用した宣伝品(ぬいぐるみ、バッジ等)を作成し、市民主体のイベント等で活用してもらった。
今治市	広報活動。

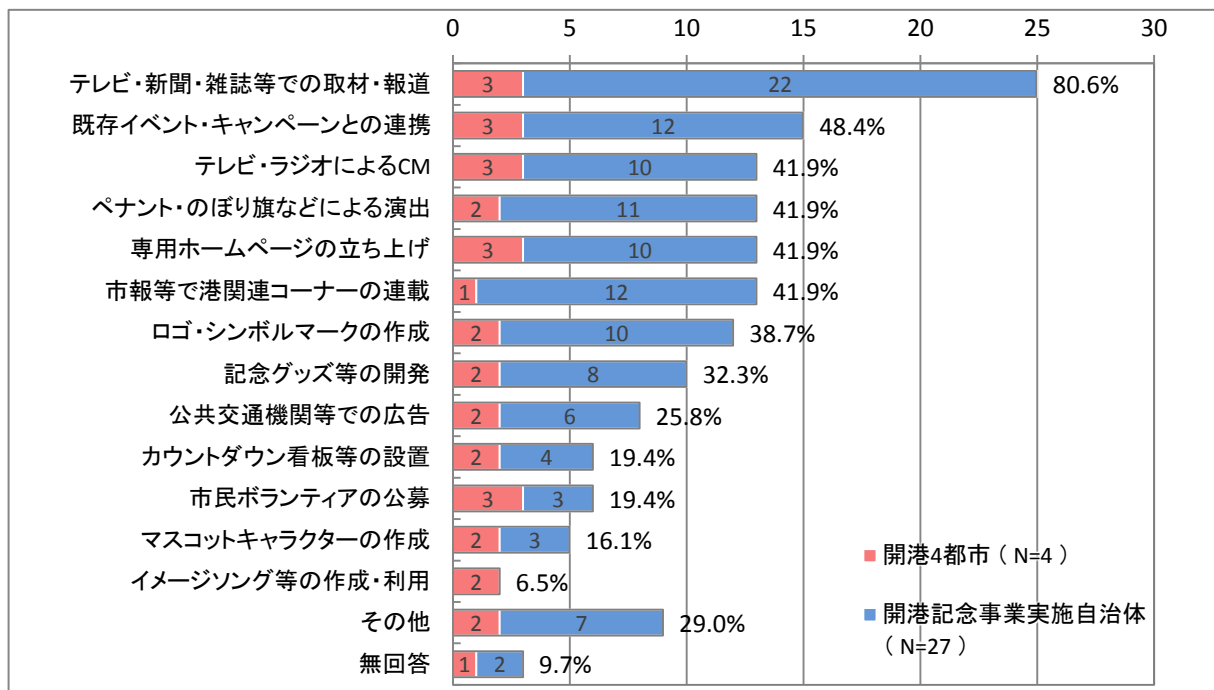
問3. 市民の関心を高めるために、どのような広報を行いましたか？

【あてはまるものすべてに○】

また、「特に効果が高かった」と思うものを3つあげ、工夫した点をお聞かせください。

全体では「テレビ・新聞・雑誌等での取材・報道」（80.6%）が特に多く、次いで「既存イベント・キャンペーンとの連携」（48.4%）が多い。

選択肢	行った広報		特に効果の高かったもの	
	回答数	割合	回答数	割合
1. ロゴ・シンボルマークの作成	12	38.7%	5	17.9%
2. マスコットキャラクターの作成	5	16.1%	1	3.6%
3. カウントダウン看板等の設置	6	19.4%	0	0.0%
4. ペナント・のぼり旗などによる演出	13	41.9%	4	14.3%
5. テレビ・ラジオによるCM	13	41.9%	4	14.3%
6. テレビ・新聞・雑誌等での取材・報道	25	80.6%	13	46.4%
7. 公共交通機関等での広告	8	25.8%	1	3.6%
8. イメージソング等の作成・利用	2	6.5%	0	0.0%
9. 専用ホームページの立ち上げ	13	41.9%	2	7.1%
10. 記念グッズ等の開発	10	32.3%	0	0.0%
11. 市民ボランティアの公募	6	19.4%	3	10.7%
12. 既存イベント・キャンペーンとの連携	15	48.4%	4	14.3%
13. 市報等で港関連コーナーの連載	13	41.9%	6	21.4%
14. その他	9	29.0%	3	10.7%
無回答	3	9.7%	10	35.7%
計	153		56	

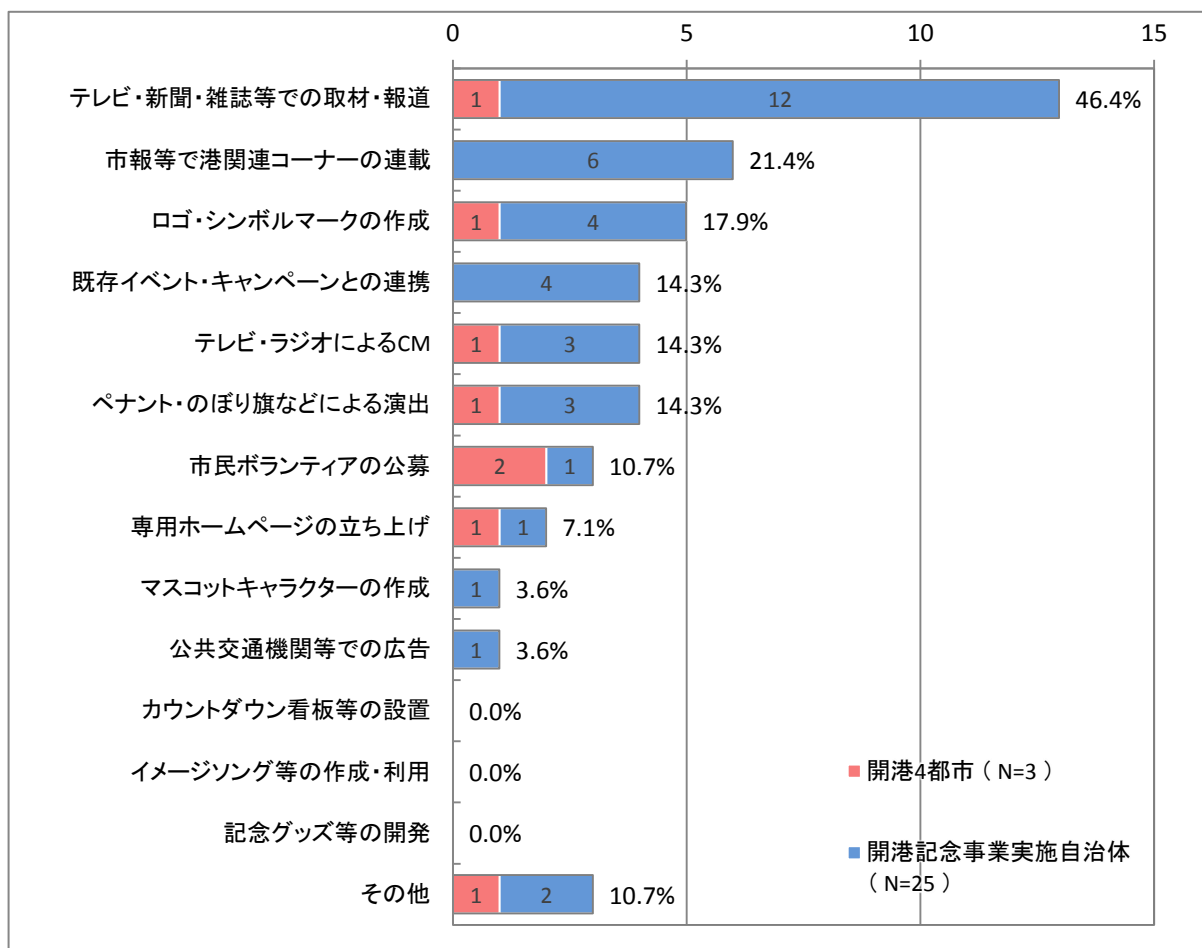


< その他の内容 >

横浜市	地元新聞社とタイアップした開港新聞の発行。
長崎市	facebookやアメーバブログの活用。
小樽市	パンフレット作成。
高岡市	チラシを伏木地区に全戸配付及び高岡市内の小学校及び保育園・幼稚園に配付。
横須賀市	市ホームページ、市広報紙等への掲載、ポスター・チラシの作成・配布。
静岡市	協賛企業による協賛商品の販売。
名古屋市	スタッフユニホームの作成等。
広島市	関係者のみでの式典であるため、広報はしていない。
大分市	デジタルサイネージ。

■特に効果の高かったもの

全体では「テレビ・新聞・雑誌等での取材・報道」（46.4%）が特に多く、次いで「市報等で港関連コーナーの連載」（21.4%）が多い。
開港4都市では「市民ボランティアの公募」が若干多い。



< 工夫した点 >

横浜市	地元新聞社による開港新聞の発行やボランティアによる盛り上げなど、市民、企業、団体と一体となった広報に努めた。
石狩市	町内会イベント等でPR活動を実施。
宮古市	「開港400周年」という歴史の側面、「東日本大震災から5年」という震災復興の側面をセットでPRした点。
高岡市	地元チラシを全戸配付したことによりイベントの周知度が高まったと考えられる。
七尾市	市の広報やホームページへの掲載、公共施設や商業施設におけるポスターの掲示依頼など周知活動を積極的に行った。
横須賀市	庁内観光担当部局と連携し、電車車内広告枠を確保し、駅や主要観光施設でのチラシ配架・ポスター掲出。庁内広報担当部局と連携し、ケーブルテレビや地元FM局に出演。
静岡市	統一ロゴ、キャッチフレーズや「清水港開港100周年」のタイトルを統一し、市内各所に常に目につくよう、サイン設置をしながら、官民が連携したまち全体の取組みとしてPR活動に励んだ。
名古屋市	・代理店にも依頼し、できるだけマスコミで取り上げられるようにしてもらった。 ・HPアクセスを増やすためのSEO※を代理店に依頼した。

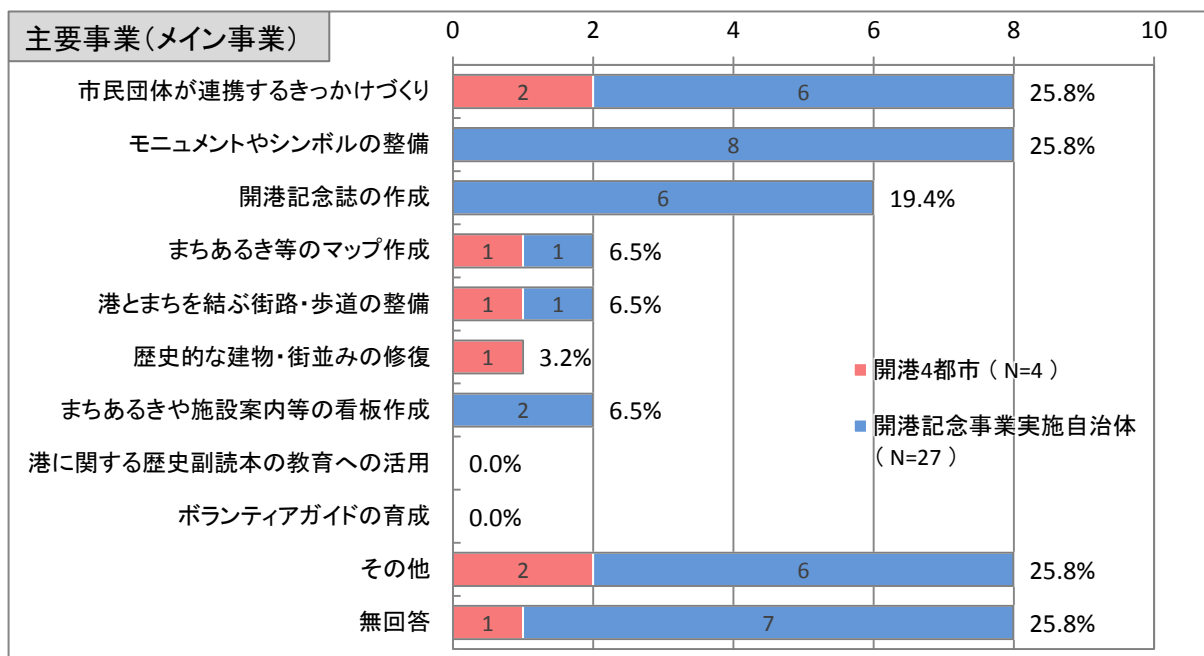
※SEOとは、GoogleやYahoo!などの検索結果ページで、より多くのページを上位表示させて、より多くの検索流入を獲得するための一連の施策のこと。

2. 開港記念事業等の「主要事業」と「関連事業」について

問4. 当該地ならではの・〇周年ならではの「特色」を出すために、行政が取り組んだことがございましたら、お聞かせください。【あてはまるものすべてに〇】

全体では「市民団体が連携するきっかけづくり」と「モニュメントやシンボルの整備」（25.8%）が多く、次いで「開港記念誌の作成」（19.4%）となっている。
開港4都市でも「市民団体が連携するきっかけづくり」が多い。

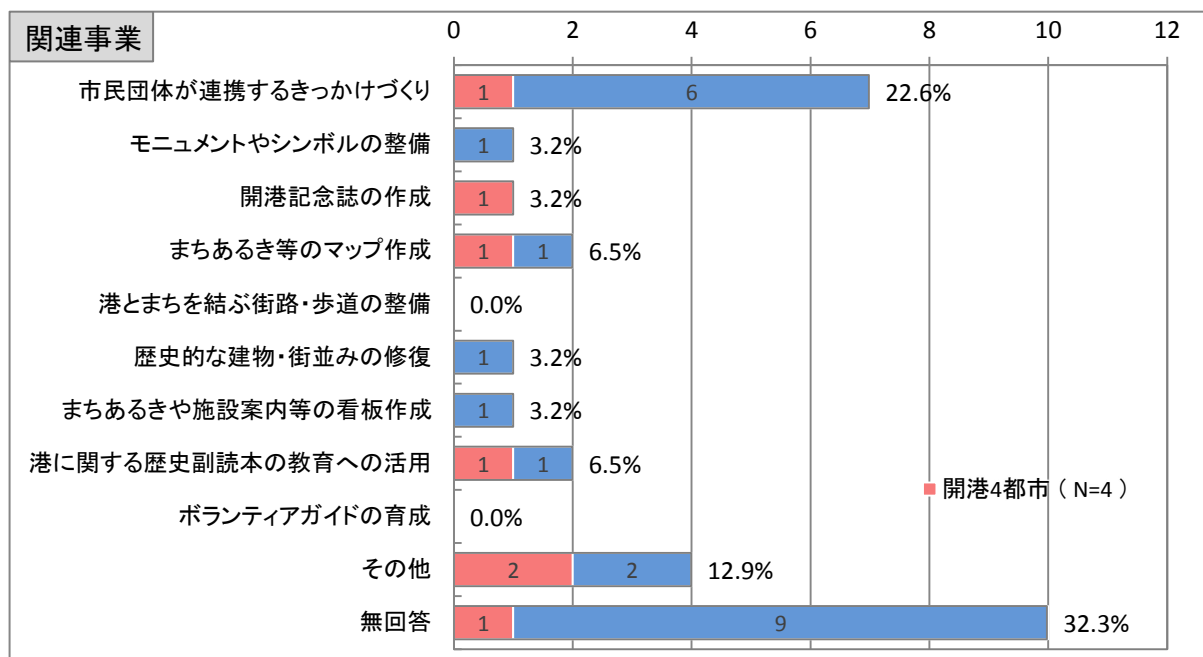
選択肢	主要事業		関連事業	
	回答数	割合	回答数	割合
1. 歴史的な建物・街並みの修復	1	3.2%	1	3.2%
2. 港とまちを結ぶ街路・歩道の整備	2	6.5%	0	0.0%
3. まちあるきや施設案内等の看板作成	2	6.5%	1	3.2%
4. まちあるき等のマップ作成	2	6.5%	2	6.5%
5. 港に関する歴史副読本の教育への活用	0	0.0%	2	6.5%
6. 開港記念誌の作成	6	19.4%	1	3.2%
7. モニュメントやシンボルの整備	8	25.8%	1	3.2%
8. ボランティアガイドの育成	0	0.0%	0	0.0%
9. 市民団体が連携するきっかけづくり	8	25.8%	7	22.6%
10. その他	8	25.8%	4	12.9%
無回答	8	25.8%	10	32.3%
計	45		29	



< その他の内容 >

函館市	記念式典など。
長崎市	開港記念事業に絡めた行政単独での取り組みは行っていない。
宮古市	記念イベントの開催。
横須賀市	学校、関係機関、関係者との連携・協力。
佐渡市	入船御膳の制作。
名古屋市	職員による「お知らせ隊」の結成（「つづける事業」として現在も継続）。
広島市	千田貞暁氏の銅像の前で式典を開催している。
今治市	市民参加型とした。

全体では「市民団体が連携するきっかけづくり」（22.6%）が最も多く、次いで「まちあるき等のマップ作成」、「港に関する歴史副読本の教育への活用」（6.5%）が多い。



< その他の内容 >

函館市	開港都市連携事業: 高校生合同合唱チームの派遣費。
長崎市	開港記念事業に絡めた行政単独での取り組みは行っていない。
名古屋市	博物館における特別展の実施等。

問5. 当該地ならではの・〇周年ならではの「特色」を出すために、市民・学校・事業者などが取り組んだことがございましたら、それぞれお聞かせください。

市民：運営スタッフとしての参加やイベント出演、出店などの取り組みがみられる。
 学校：イベント出演のほか、研究・発表などの学習の取り組みがみられる。
 事業者：出店やイベント誘致・開催のほか、SNS・YouTubeによる演出などの取り組みがみられる。

■主要事業

<対象:市民>

自治体名	事業名・イベント	準備・当日の役割など
函館市	メインイベント	アトラクションの案内や飲食ブースでの接客など。
横浜市	事業の枠組みが貴市の想定するものとは大きく異なるため、回答困難	イベントの運営・演出・出演、まち歩き、清掃活動の実施など。
長崎市	みなとまつり	みなとまつりのボランティアスタッフとして参加した。
石狩市	産業見本市	各種団体の活動を発表した。
宮古市	全国新選組サミットin宮古 (「みなとオアシスSea級グルメ全国大会in宮古」と同日開催)	市民有志(宮古港海戦組ほか)が宮古港の歴史等をPRする団体を組織し、県外からも有志を集める規模のイベント(サミット)を企画・開催した。さらに、朗読劇・演劇も企画・実施し、記念事業のPRにも取り組んだ。
男鹿市	船舶入港歓迎イベント	寄港歓迎イベント、アトラクションへの参加。 (和太鼓等の郷土芸能など)
いわき市	地元イベントの開催	イベント実施の主体。
佐渡市	祝賀会等	入船御膳の制作、小木港のあゆみ、のぼり、ロゴマークルール作成、手打そば出店。
静岡市	港づくりシンポジウム	県民ワークショップ活動として1~2回/月 集まり、清水港のあり方を研究し、未来への提言発表を行った。
下田市	50回記念誌作成	実行委員会を立ち上げ、黒船祭の歴史を綴った記念誌を作成。
名古屋市	開港祭	市民合唱団等が参加。
	みなと体験ツアー	港務艇による市民の見学会。
大牟田市	TantoTantoウォークスぺシャル	—

<対象:学校>

自治体名	事業名・イベント	準備・当日の役割など
横浜市	事業の枠組みが貴市の想定するものとは大きく異なるため、回答困難	イベントの運営・演出・出演、記念副読本の発行、清掃活動の実施など。
長崎市	みなとまつり	みなとまつりのボランティアスタッフとして参加した。 構成団体(長崎商工会議所青年部)が企画した「先賢顕彰長崎さるき」に生徒が参加した。
石狩市	産業見本市	サイエンスショーを開催した。
男鹿市	船舶入港歓迎イベント	寄港歓迎イベント、アトラクションへの参加。 (吹奏楽演奏、鼓笛隊、ヤートセ踊りなど)
佐渡市	—	小木港の歴史等、地元小学生による研究発表作品の展示。
高岡市	シンボル船の披露	地元園児にシンボル船の帆柱起こし及び帆の引き揚げを行ってもらった。
横須賀市	シップスクール	小学生(学校単位)を対象とした校外学習(船内見学・講義など)を実施した。
静岡市	港づくりシンポジウム	中高生が集まって一年を通じ清水港のあり方を研究し、成果発表を行った。
下田市	トモダチ宣言	73回黒船祭記念式典において地元小学生主体に日米友好を再確認するセレモニーを企画。
名古屋市	開港祭	港区の学校が参加(音楽等)。 タイムカプセルの埋設(小学校)。
	子どもマリンフェスティバル	地元小学校とのパネルディスカッションや映画上映会。
倉敷市	小学生を対象とした小学生絵画展	小学生の絵画の応募。
大分市	チアリーディング演技	大在地域にある大学のチアリーディング部による演技を式典において実施。

<対象:事業者>

自治体名	事業名・イベント	準備・当日の役割など
横浜市	事業の枠組みが貴市の想定するものとは大きく異なるため、回答困難	展示、出店、清掃活動の実施など。
長崎市	みなとまつり	みなとまつりに合わせてクルーズ客船を誘致。 →大型の客船が会場前に停泊し、市民を喜ばせた。 構成団体(長崎商工会議所青年部)が企画した「先賢顕彰長崎さるき」に参加した。
石狩市	まるごとフェスタ2014	地産地消ご当地グルメコンテストを実施。
男鹿市	船舶入港歓迎イベント	地場産品販売、会場来場者への記念事業特別試食コーナーの実施、港湾周辺の清掃活動。
静岡市	みなとまるごと博物館 小さな博物館	清水港周辺の商店街の個店が、その店ならではの「お宝」を並べて紹介。ウォーキングMAPも作成。
横須賀市	陸上自衛隊	式典中及び出港時に和太鼓の演奏を行った。
	ふ頭開放日における 露天販売の実施	観光協会及び地元商店会を通じてふ頭内出店事業者を募集し、飲食物の販売を行った。
名古屋市	FM AICHI イルミネーションモニュメント	イルミネーションにより、人、船、海、港の一体感を表現。
	中日新聞社「恐竜大陸」	開港100周年の冠を付して金城ふ頭で開催、出口では同時に100年の歴史をパネルで展示。
北九州市	第48回 日本港湾経済学会全国大会	開港120周年を記念して、20年ぶりに北九州市で開催されました。
	北九州港開港120周年記念 講演会	(社)北九州港振興協会が毎年、会員企業を対象に開催している「港湾セミナー」を、開港120周年にちなみ、市民にも参加を呼びかけるなど例年より規模を拡大し、北九州市・実行委員会の共催で開催。
大分市	飲食、物販	大在地域の商工会青年部による飲食や物品の販売が行われた。

■ 関連事業

<対象:市民>

自治体名	事業名・イベント	準備・当日の役割など
函館市	町会募金	事業実施に係る費用の募金活動を担ってもらった。
名古屋市	100周年シンポジウム	市民参加型のシンポジウム。
	港橋公園桜まつり	西築地学区振興組合主催による桜まつり。
下田市	黒船音頭	第1回黒船祭においては黒船音頭を作詞家の方を招いて作成。現在も披露されている。
石狩市	記念パレード	各種団体の活動を披露した。
大牟田市	「三池港100周年記念」 フォトコンテスト	—

<対象:学校>

自治体名	事業名・イベント	準備・当日の役割など
函館市	小学校での開港に関する 出前授業	小学生に対し、函館の開港の歴史や文化などをお題にグループワークなどを実施。
石狩市	記念パレード	市内高校生による横断幕の作成。 市内高校生による吹奏楽演奏。
静岡市	プラスバンドフェスティバル	高校生プラスバンド部による演奏会を実施し、イベントに花を添えた。
名古屋市	100周年シンポジウム	名大名誉学長伊藤達朗氏をコーディネーターとしたパネルディスカッション(その他岐大教授等)。
	モノづくり文化交流フォーラム	「港の活性化とモノづくり」をテーマに名城大学准教授等のパネルディスカッション。
岩国市	写生大会	—
大牟田市	夢プロジェクト展示会	—

<対象:事業者>

自治体名	事業名・イベント	準備・当日の役割など
長崎市	ロマン長崎選彰式	ロマン長崎に対して副賞を用意した。
小樽市	フェリー周遊	市民が乗船し、港周辺の海を周遊。
宮古市	みなとオアシスSea級グルメ 全国大会への参加	参加出店者(市内企業)が、全国大会へ参加するための出品メニューを開発した。また、出品メニューの自社製品化にも取り組んだ。
	宮古市Sea級グルメコンテスト の開催	市内企業が、コンテスト入賞を目指し、新たな商品開発等に取り組んだ。
静岡市	出店	清水港日の出埠頭岸壁上において、記念事業の協賛企業として6社が出店を行った。
下田市	—	商店会において街中のにぎやか市の為のイベント「開国市」を企画77回においても実施予定。
名古屋市	釜山・名古屋観光交流写真展	釜山広域市観光協会、名古屋観光コンベンションビューロー共催の写真展。
	タミヤグランプリin愛知	プラモデルのタミヤ主催のラジコンレースを名古屋港ガーデンふ頭で開催。

問6. 事業準備を進めるにあたり、連携先からどのような要望がありましたか？
とられた対応も合わせてお聞かせください。 ※開港4都市のみの設問

ボランティア用ユニフォームの提供依頼や学生ボランティアへの交通費・弁当代の支給、交通渋滞の緩和などの要望があった。

横浜市 | 事業の枠組みが貴市の想定されているものとは大きく異なっているため、回答が困難です。

<対象:市民>

自治体名	事業名・イベント	準備・当日の役割など
長崎市	みなとまつり	市民ボランティア用ユニフォームの提供依頼。 →Tシャツを作成・配布した。

<対象:学校>

自治体名	事業名・イベント	準備・当日の役割など
長崎市	みなとまつり	学生ボランティア用ユニフォームの提供依頼。 →Tシャツを作成・配布した。 学生ボランティアへの交通費や弁当代の支給。 →多くの学生に参加してもらうため、一律で支給した。 構成団体(長崎商工会議所青年部)が主管する「先賢顕彰長崎さるき」に参加する生徒へのダンス指導。 →学校に出向いて指導した。

<対象:事業者>

自治体名	事業名・イベント	準備・当日の役割など
長崎市	みなとまつり	交通渋滞の緩和。 →告知看板の設置、交通対策会議の開催。 構成団体(長崎商工会議所青年部)が主管する「先賢顕彰長崎さるき」に参加する従業員へのダンス指導。 →実際に出向いて指導した。

3. 開港記念事業等の「当日運営」全般について

問7. 来場者に対し、周辺のまちや歴史資源等に誘導するために取り組んだことがありますか？ それらの概要をお聞かせください。 ※開港4都市のみの設問

エリア内回遊ルートマップを作成や情報ステーションの設置、公共交通施設での広告掲出などの情報発信の取り組みがあげられている。

横浜市	横浜都心臨海部を「マザーポートエリア」と位置付け、エリア内回遊ルートマップを作成、配布したほか、エリア内24カ所に情報ステーションを設けた。
長崎市	県外からの誘客を図るため、福岡県福岡市の博多駅バスターミナルで広告を出したほか、県内外でテレビ出演を行った。

問8. 当日運営のなかで、どのような問題（想定外の事象含む）が発生しましたか？ また、考えられる原因があればお聞かせください。 ※開港4都市のみの設問

駐車場の問題や悪天候、安全面への対策などがあげられている。

<函館市>

問題	メイン会場の駐車場からの交通渋滞。
原因	公共交通機関での来場を呼びかけたものの、あまり効果が無く、メイン会場の駐車場設置自体を考慮すべきかも知れない。
問題	メイン会場が芝生であったため、雨によって来場者の足場が悪くなった。
原因	会場設定ももちろんだが、雨対策を考慮すべきである。

<横浜市>

問題	有料入場者数が当初想定よりも大幅に下回った。
原因	<p><事務局が横浜市提供資料から抜粋></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 会場施設側との調整後、既存のイベント利用を優先したため無料会場とせざるを得ず、有料会場自体が減った。 ● 都市型分散会場方式で実施したことから、来場者の移動が不自由であった。 ● 無料会場でのコンテンツの充実も図ったため、来場者が満足してしまった。 ● 安全、安心のイベントを目指して広域の安全対策を行ったため、有料会場への投資が抑制され、コンテンツの魅力が乏しくなった。 ● 会場構成の変更によりコンテンツの決定が遅れ、前売券の購買意欲が鈍った。 ● 世界的な景気低迷（リーマンショック）が発生し、消費者の感覚が変化した。 ● 開会前日に世界保健機関（WHO）が新型インフルエンザの警戒レベルを引き上げ、集客施設へ出かける人が少なくなった。 ● 会期前半は週末ごとに悪天候が続き、外出を控えた人が多かった。 など

<長崎市>

問題	みなとまつりの開催期間中に台風が発生。2日間で1万発の花火をあげる予定だったが、急遽1日で1万発に変更した。ギリギリの対応を迫られた。
原因	台風の影響。

問9. 「市民参加」や「関係者連携」という視点で、うまくいった点、うまくいかなかった点をお聞かせください。

＜うまくいった点＞

函館市	関わっていただいた市民が多かったことから、みんなでやりとげたといった、一体感はあった。また、マンパワーの点で市民の力を借りたことから、費用面での効果もあった。
長崎市	・みなとまつりの開催にあたり、出店者説明会を開催。消防や保健所の担当者にも同席いただき、安全な祭りを開催できた。 ・みなとまつりの開催にあたり、港湾関係者や交通事業者に対して説明会を開催した。当日の交通機関の増便等に対応していただけた。
石狩市	市民団体等の活動を発表できる機会を多く設けた。
男鹿市	記念事業ということで、商工会や地場産品を取り扱う業者などから理解をいただき、積極的に港湾会場へ出展いただき、来場者からも好評であった。
糸魚川市	日本丸の寄港による一般公開等のイベントが集客があった。
佐渡市	官民連携した取り組みの実現。
高岡市	日頃伏木富山港で活躍する舟艇等の紹介や伏木港内の体験乗船などを行うことにより、市民に伏木港の魅力や役割を再認識してもらい、みなとまちづくりの意識高揚や伏木地域の活性化を図ることが出来た。
七尾市	港に係るイベント全てに「110周年記念事業」と銘打ち、市民に対し港に対する関心を高めることができた。客船や練習船のイベントは長くても数日だが、空いた期間で、フォトコンテストや港の写真展、子ども写生会などを開催することで、幅広い年代に長期間楽しんでもらうことができた。
横須賀市	地元町内会・商店会への事前説明を行い、協力を得られた。
静岡市	既に15年以上が経過しているためわかりませんが、イベントによっては清水港 日の出埠頭が人で溢れるほど賑わったと聞いています。
下田市	商店団体には市内のにぎわいの創出を主体的に実施してもらっている。来遊客には好評。
名古屋市	マスコットキャラクターグッズを使い、関係者・市民によるイベントをうまく取り込めた。
舞鶴市	ステージイベントの司会を地元の高校の放送部にお願いし、各出演団体とのコラボレーションを通して、市民団体が主体となったパフォーマンスを実現できた。
広島市	広島県・広島市・商工会議所の関係者、地元選出議員及び地元住民100名が一堂に会し、今後の広島港の発展に向けて一致協力していく意思を確認した。
岩国市	来場者が多く、盛大であった。
今治市	記念クルーズ(即日完売となりました)。
大分市	当日は市内中心部で他の大きなイベントが開催されるとともに、中心部から10km以上離れた場所での開催にもかかわらず、3万人近くの人々が訪れ、非常に盛況であった。大型帆船の一般公開や航空自衛隊の展示飛行、飲食コーナー等による集客が功を奏した。

＜うまくいかなかった点＞

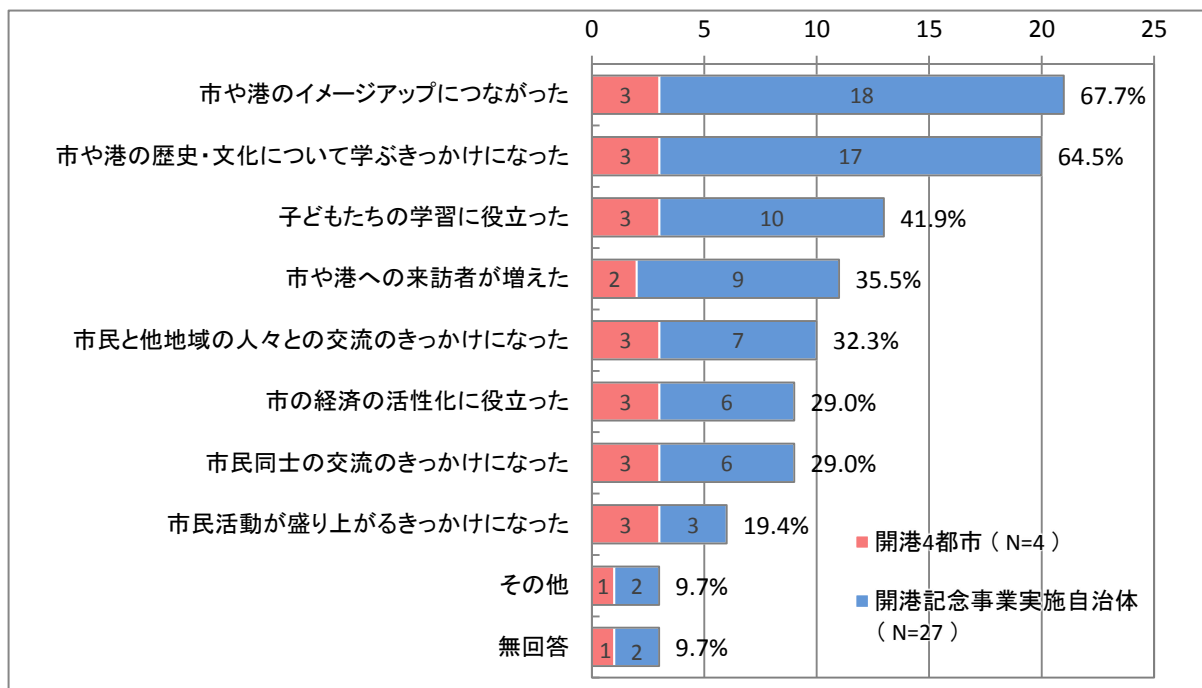
函館市	ボランティア個々の意見や思い入れが強かったので、事務局としてのハンドリングが難しかった。
長崎市	・市民ボランティアが想像以上に集まらなかった。 ・市民参加ステージの盛り上がりに欠けた。
石狩市	関連団体が多く、連携がうまく取れないことがあった。
男鹿市	市民ボランティアに関し、イベントの開催時期が集中した事、炎天下でのイベントが多かったことから、イベント当日、交代制などにより対応していただいたが、後半は疲れからか協力者が減少傾向にあった。また、協力希望イベントに偏りがあり、スタッフのやりくりが困難なイベントもあった。
七尾市	110周年ということで、100周年の時ほど予算規模は大きくなく、派手なイベントや関係者を巻き込んだ取組は実施できなかった。 ばしふいっくびいなすのお客さんに対するオプションツアーや歓迎式典などをする予定であったが、当日の大雨の影響で参加者が少なく、盛り上がり欠けてしまった。
横須賀市	帆船の一般公開時に近隣大型量販店駐車場を利用され、店舗からの苦情を受けた。
下田市	個人単位の祭典への参加意識は思ったほど高くはない。事務局として関係団体をフォローできる人的余裕がなく、ほぼ任せりの状態になってしまう。何かあった際の対応には混乱が生じる恐れがある。
倉敷市	盛夏でのイベント開催であり、屋外のイベントでは主催者、出席者とも身体的負担が大きかった。
岩国市	駐車場、参加者のシャトルバスでの移動。
大分市	イベント終了後の負担金に関する事務局(大分県)との調整。

4. 開港記念事業等の「波及効果」や「今後の課題」について

問10. 事業の実施により、どのような効果があったと思いますか？
または、期待できますか？ 【あてはまるものすべてに○】

「市や港のイメージアップにつながった」（67.7%）が最も多く、次いで「市や港の歴史・文化について学ぶきっかけになった」（64.5%）が多い。

選択肢	回答数	割合
1. 市や港への来訪者が増えた	11	35.5%
2. 市や港のイメージアップにつながった	21	67.7%
3. 市や港の歴史・文化について学ぶきっかけになった	20	64.5%
4. 市民同士の交流のきっかけになった	9	29.0%
5. 市民と他地域の人々との交流のきっかけになった	10	32.3%
6. 市民活動が盛り上がるきっかけになった	6	19.4%
7. 市の経済の活性化に役立った	9	29.0%
8. 子どもたちの学習に役立った	13	41.9%
9. その他	3	9.7%
無回答	3	9.7%
計	105	

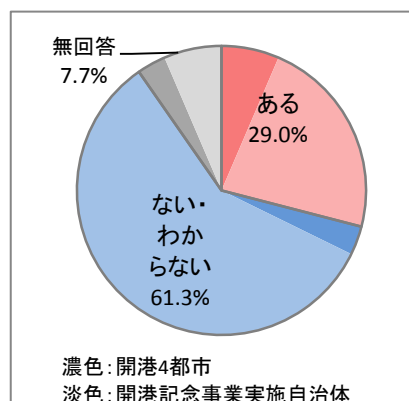


函館市	メイン会場のその後の活用が促された。その後、シンボル会場的に活用された。
小樽市	残念ながら当時の状況は分かりません。
今治市	港や船に対する関心が広がった。

問11-1. 記念事業をきっかけに、市民や関係者が自発的に取り組み始めたことがありますか？ 【どちらか1つに〇】

「ある（既存の取組を含む）は29%（うち開港4都市2件）、「ない・わからない」は61.3%（うち開港4都市1件）であった。

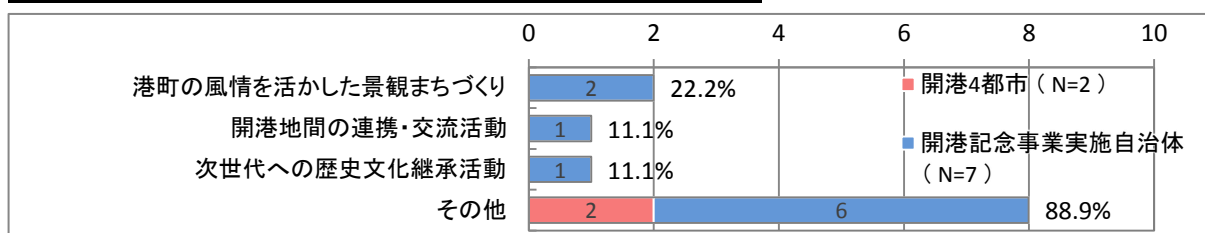
選択肢	回答数	割合
1. ある(既存の取組を含む)	9	29.0%
2. ない・わからない	19	61.3%
無回答	3	9.7%
計	31	100.0%



問11-2. 「ある」を選んだ方にお聞きします。どのようなことに取り組んでいますか？
あてはまるものすべてに〇をつけ、概要をご記入ください

「港町の風情を活かした景観まちづくり」（22.2%）のほか、イベント等の継続実施が挙げられている。

選択肢	回答数	割合
1. 開港地間の連携・交流活動	1	11.1%
2. 港町の風情を活かした景観まちづくり	2	22.2%
3. 次世代への歴史文化継承活動	1	11.1%
4. その他	8	88.9%
無回答	0	0.0%
計	12	



<開港地間の連携・交流活動>

静岡市	昭和59年より継続 清水港・青島港友好港湾提携。
-----	--------------------------

<港町の風情を活かした景観まちづくり>

静岡市	石造倉庫群の有効活用。
名古屋市	モニュメント等。

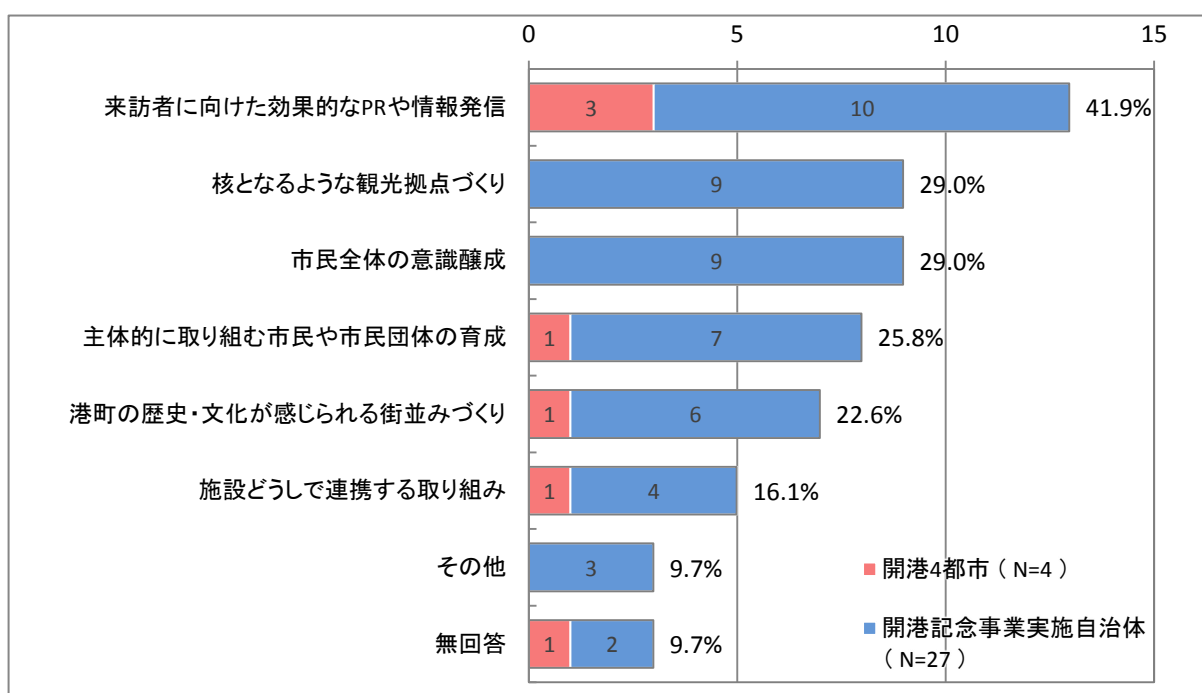
<その他>

函館市	サイトをメンバーが引き継いだ。若者を中心に展開された活性化イベントがいまも実施されている。
横浜市	地元商店街が主体となったイベントの継続開催。
男鹿市	県、市、港湾関係者団体による港湾区域の清掃活動。
佐渡市	入船御膳の提供。
静岡市	日の出地区周辺の「はたらく港」から、プラス「たのしむ港」への転換。
名古屋市	職員の自主的PR主体(お知らせ隊)の存続。
岩国市	イベントの実施。
大牟田市	翌年より、毎年11月3日(文化の日)に港でのイベントとして「三池港口マンフェスタ」を開催。

問12. 「港」をキーワードとしたしたまちづくりを進める上で、今後の課題は何ですか？
【特にあてはまるもの2つに○】

「来訪者に向けた効果的なPRや情報発信」（41.9%）が最も多く、次いで「核となるような観光拠点づくり」と「市民全体の意識醸成」（29%）であった。
開港4都市でも「来訪者に向けた効果的なPRや情報発信」が多い。

選択肢	回答数	割合
1. 核となるような観光拠点づくり	9	29.0%
2. 港町の歴史・文化が感じられる街並みづくり	7	22.6%
3. 施設どうして連携する取り組み	5	16.1%
4. 市民全体の意識醸成	9	29.0%
5. 主体的に取り組む市民や市民団体の育成	8	25.8%
6. 来訪者に向けた効果的なPRや情報発信	13	41.9%
7. その他	3	9.7%
無回答	3	9.7%
計	57	



< その他の内容 >

小樽市	老朽化が進む港の施設整備。
石狩市	港の背後地にある工業団地内企業の連携。
いわき市	みなとオアシスの振興。

問13. 市の特徴を活かした新たなまちづくりや取り組みを持続するために行っている方策・支援等がございましたら具体的にお聞かせください。

港や景観に関する計画等の策定、組織や体制の強化、財政支援、施設整備によるにぎわいづくりが行われている。

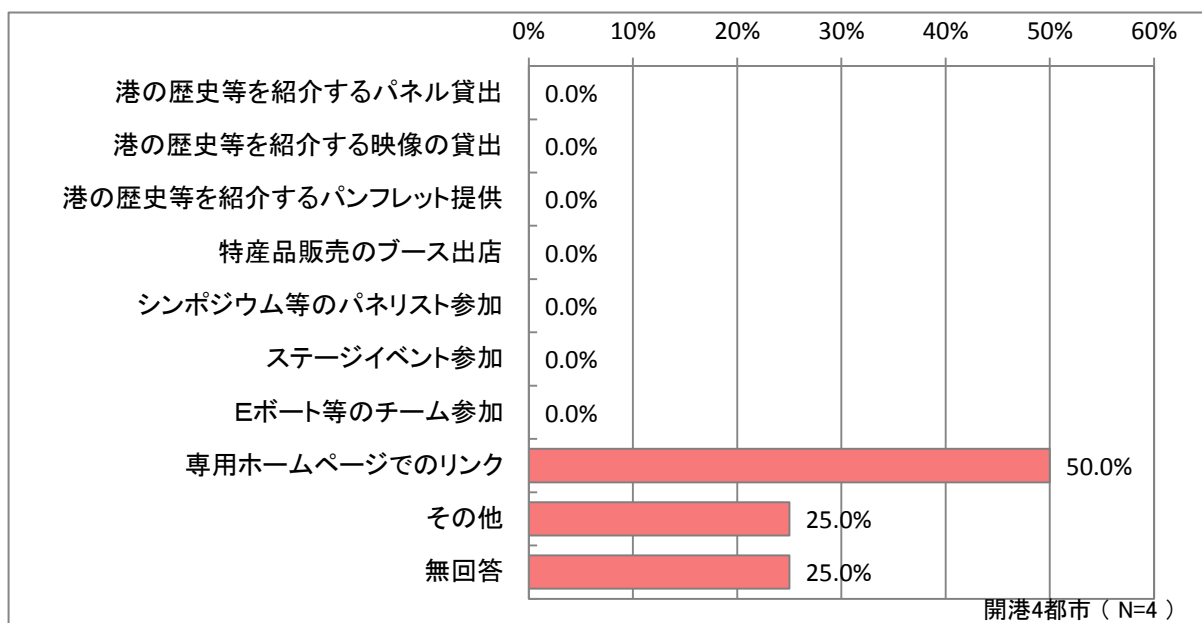
横浜市	開港150周年を目標に進められた「文化芸術創造都市」「観光MICE都市」の相乗効果を上げるため、平成23年度に組織改編を行い、「文化観光局」を創設し、一体的な取り組みを強化しています。
小樽市	市内の歴史的景観を維持するため、「小樽の歴史と自然を生かしたまちづくり景観条例」を制定しています。
いわき市	●みなとオアシスの振興について 小名浜港の1号・2号ふ頭地区は、港湾管理者である県により、親水空間(通称:アクアマリンパーク)として整備されており、平成17年に「いわき小名浜みなとオアシス」として登録されている。 市では、みなとオアシスの地域振興に資する取り組みを継続的に行い、賑わいの創出を図るため、市が事務局となり、民間団体や県・国で構成される「いわき小名浜みなとオアシス連絡協議会」を組織しており、市は運営に対して補助金を支出している。
酒田市	山居倉庫など歴史、文化的景観を生かした地域等を重点地域に指定することにより美しい景観形成に取り組んでいる。
佐渡市	地域の個性や自主性を活かした活動をするための財政支援。
高岡市	伏木港に大型クルーズ船が多数入港し、地元が活気づくために、船会社に対し各種支援を用意している(給水料助成、バス助成)。
横須賀市	観光や歴史遺産等を活かした集客・観光事業の推進。
静岡市	●清水港は静岡県管理の港湾ですが、国・県・市・民間が連携し、物流の機能転換と賑わい創出に向けて、港湾施設の移転や転換は県が、ソフトにかかわる部分は市が主になって取り組むという連携がなされ、様々な調査、計画について協働して進めています。 ●「清水港ビジョン」「清水都心WF活性化プラン」(以上市策定)を「駿河湾港整備基本計画」(以上県策定)に盛り込んで頂くなどの連携がなされています。 ●平成27年度には県と市が「清水都心ウォーターフロント地区開発推進会議」、「清水都心ウォーターフロント地区都市デザイン専門家会議」を立ち上げ、官民が連携した一体的な方向性を定めることとしています。
名古屋市	港まちづくり協議会等と共に、地域と一体となった港づくり、まちづくりを行っている「築地ポートタウン計画(下記URL)を策定している。 http://www.port-of-nagoya.jp/tsukiji_port_town/index.html
今治市	老朽化した港湾ビルに変わり、「みなと交流センター」を新しく建設。交通から交流のみなとへと賑わいを取り戻すべく活動しています。

5. 「新潟港開港150周年記念事業の開催」について

問14. 新潟港開港150周年事業の開催にあたり、ご協力いただけそうなことはありますか？ 【あてはまるものすべてに○】 ※開港4都市のみの設問

「専用ホームページでのリンク」（2件）のほか、計画を踏まえて可能な協力を検討する（1件）という結果であった。

選択肢	函館市	横浜市	神戸市	長崎市
1. 港の歴史等を紹介するパネル貸出				
2. 港の歴史等を紹介する映像の貸出				
3. 港の歴史等を紹介するパンフレット提供				
4. 特産品販売のブース出店				
5. シンポジウム等のパネリスト参加				
6. ステージイベント参加				
7. Eポート等のチーム参加				
8. 専用ホームページでのリンク	○			○
9. その他		○		
無回答			○	



< その他の内容 >

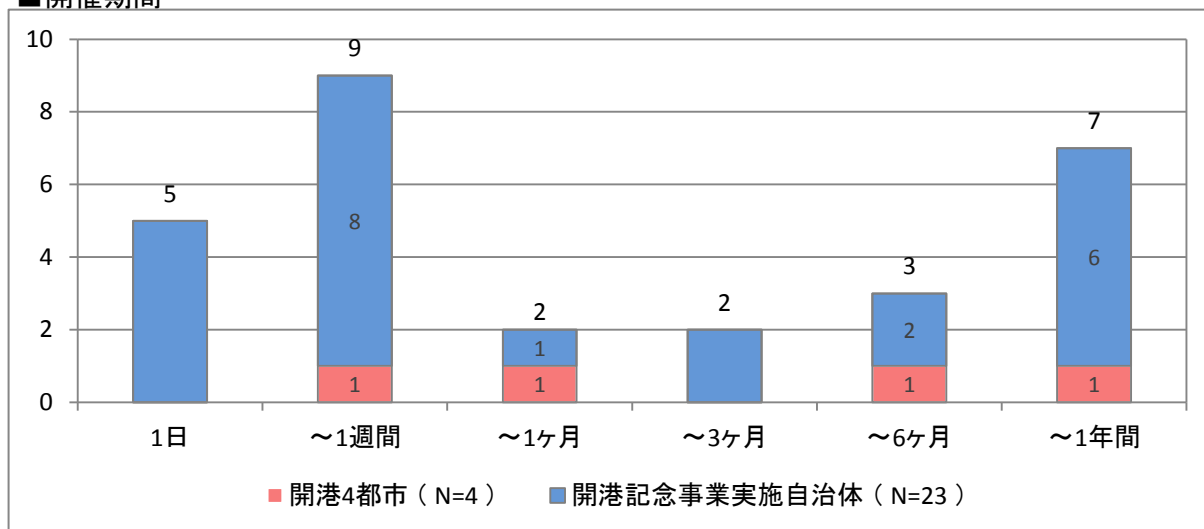
横浜市 | 貴市の計画を踏まえて可能な協力を検討いたします。

問15. 新潟港開港150周年事業の開催にあたり、先進地としてのアドバイス等がございましたらお聞かせください。

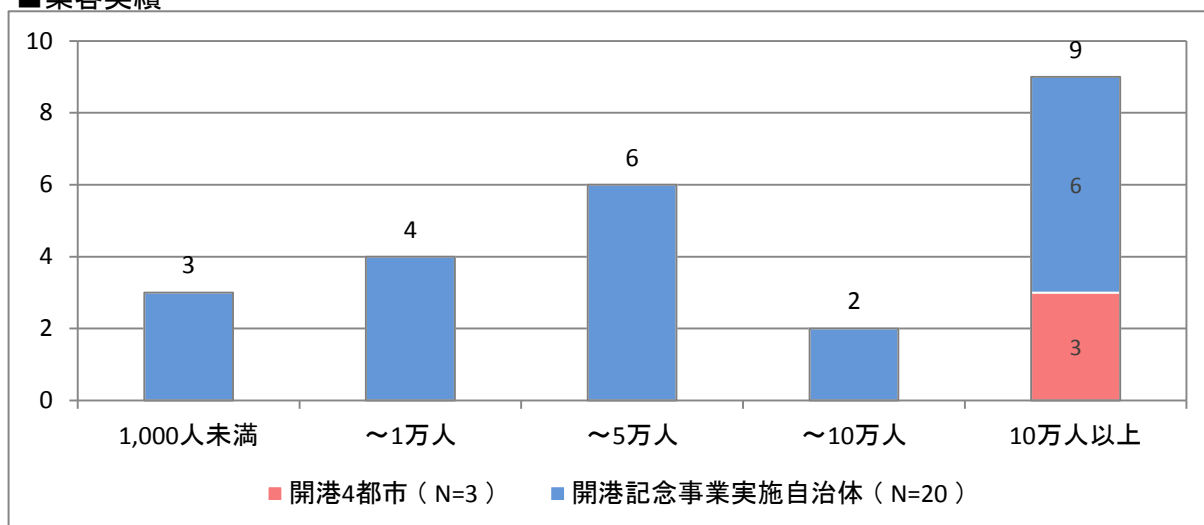
横浜市	本市の開港150周年記念事業の取組は、「公式記録」等のおり多岐にわたるため、十分な回答になっていないかもしれません。個別に質問をいただければ、具体的にお答えできると思いますので、よろしくお願いたします。
長崎市	ながさきみなとまつりの開催にあたっては、市内の4団体(商工会議所青年部、青年会議所、長崎商工会議所、NW市民の会)が幹事会として毎月集まり企画を練っており、長崎商工会議所・長崎市ほか関連する団体から構成される実行委員会も開催まで複数回開かれております。 まずは、青年団体や学生、関連団体等各所に協力を仰ぐことから始めることで、一般市民の参加にもつながるのではと考えます。この他、既存イベント等で150周年を市民にアピールする取り組みを実施することも1つの策だと思えます。
小樽市	昨今、市民参加の必要性が謳われる中、各種行事の実施方法も新しい形に変わりつつあるようです。本市の例は十数年以上前のことですので、あまり、ご参考にはならないかもしれませんが。 小樽港も平成31年には開港120周年を迎えることとなります。その際は、是非ともご助言の程、よろしくお願いたします。
石狩市	記念事業にいかにか市民や市民団体を巻き込むことが出来るかにより記念事業に対する市民意識に差が出ると感じた。
男鹿市	帆船、海洋研究船などの寄港をご検討されておりましたら、夏期には海フェスタや各地で海の日になんだイベントが多数ありますので、早めに関係機関へ事業概要などを示し協力をお願いされてはいかがでしょうか。
佐渡市	両津港150周年記念事業についても、当市地域振興課で検討中です。引き続き連携の程、よろしくお願いたします。
高岡市	地元園児など子どもがイベントの重要な部分を担うと、ほほえましい雰囲気になると思えます。
七尾市	一度に多くの集客を見込める単発イベントも大切ですが、長期的に楽しんでもらえるイベントを組み込むことで、関心が途切れないようになると思えます。
横須賀市	関係機関・関係者との早めの調整・説明を実施し、理解と協力を得ることが結果的に事業が円滑に進められることとなります。
静岡市	清水港の開港150周年は、まだ30年以上先の話であることから、先進事例でのアドバイスを行うことが出来ず申し訳ありませんが、記念事業の成功を祈念しております。
下田市	市民に周知する際には担当課のみならず全庁職員への周知を徹底することが第一と考えます。担当部署だけでの盛り上がりだけでは市民への事業の浸透、記念事業の運営は難しいと思われまます。ご担当者様におかれましては、今後様々な困難があろうかと思えますが、ご自愛いただき、記念事業の成功を心よりお祈り申し上げます。
名古屋市	実行委員会立ち上げ前に、関係者による検討会を立ち上げ、コンセプトをはっきりとさせました。名古屋港を「知らせる」「活かす」「続ける」というもので、そのコンセプトの下、事業をシンボル事業、冠シンボル事業、冠事業に分け、それぞれの事業への実行委員会の関わり方を明確にして臨みました。
広島市	本市の取り組みは毎年1回の関係者だけの式典ではありますが、広島県・広島市・商工会議所の関係者、地元選出議員及び地元住民が一堂に会し、今後の港の発展に向けて、一致協力していく意思確認の場となっています。 ご不明な点、ご質問等ございましたら、連絡先までご連絡ください。
岩国市	岩国港は従来、貨物船の利用が中心であるが、既存の花火大会の開催日に合わせ、市民が興味を引くような客船や帆船等を誘致している。
今治市	普段の生活上港に関心のない市民でも興味を持ってもらえるようなイベントがおすすめです。
大分市	イベントの主体がいずれになるか存じませんが、港湾を利用したイベントに際しては、船舶の入港を含め、港湾管理者との十分な調整が必要と思われまます。制約も多く、港湾管理者の協力なしにはイベントの成功は困難であると考えまます。大分市におけるイベントは、港湾管理者である大分県が中心になって開催されました。

6. 近年実施された開港記念事業等の「概要」

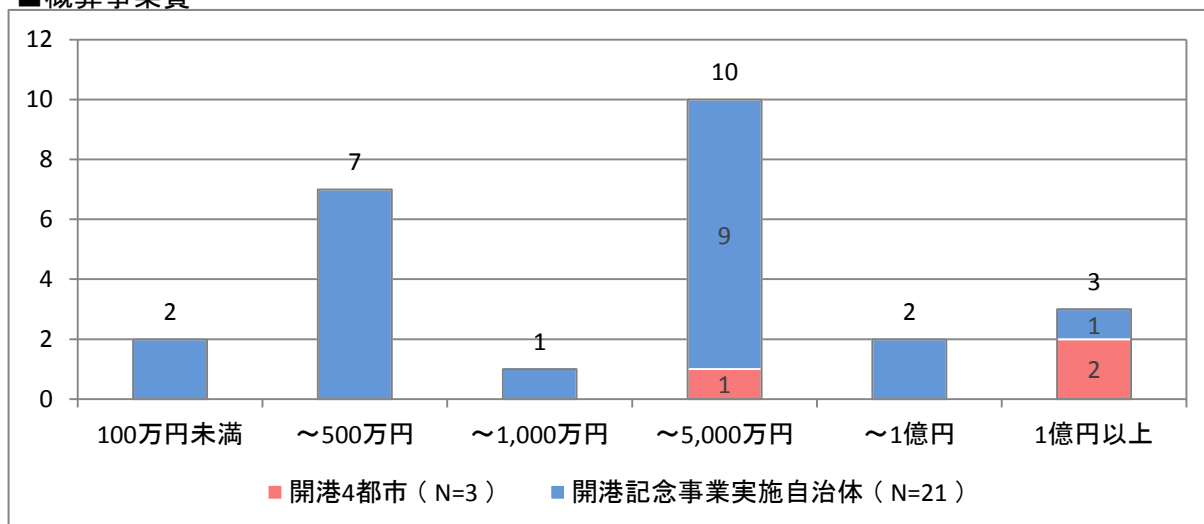
■開催期間



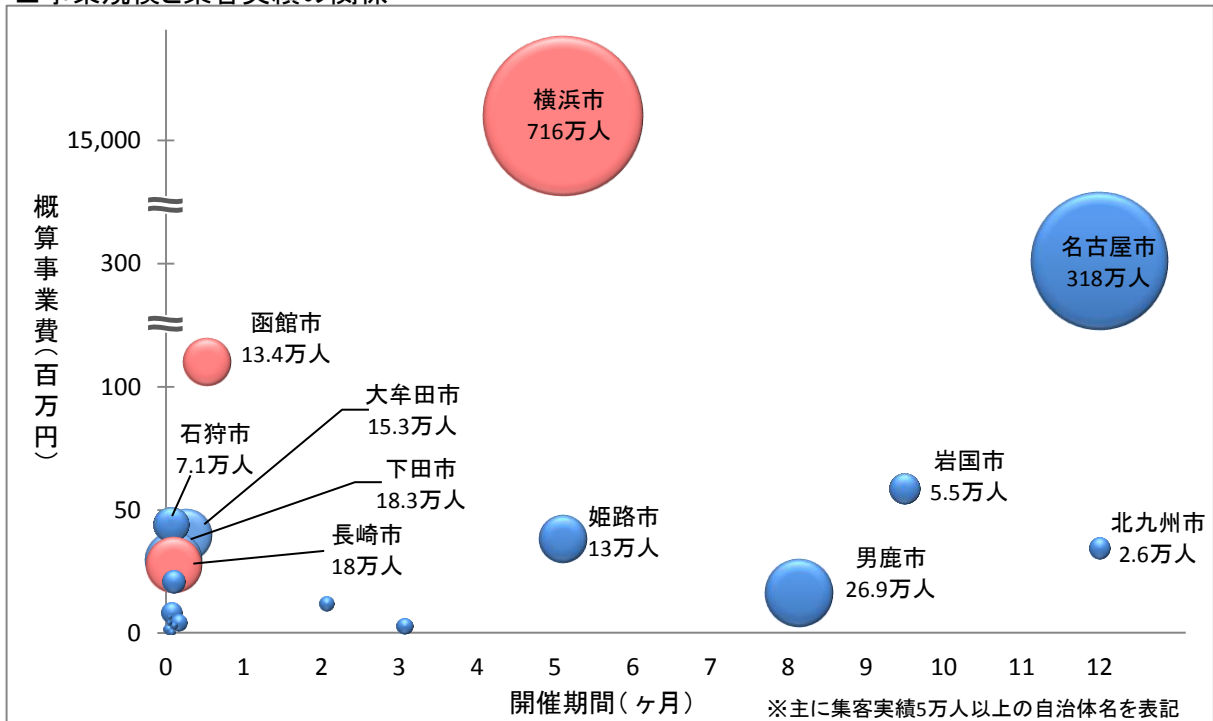
■集客実績



■概算事業費



■事業規模と集客実績の関係



■事業概要 <開港4都市>

市町村名	北海道 函館市	事業名称	函館開港150周年記念事業	
テーマ	テーマ : 挑戦・変革のための機会 コンセプト: 再・開港 函館 2009 ~Re:start HAKODATE 未来(あした)へ~			
開催日・期間	メインイベント 2009年8月8日から16日			
会場	函館港 緑の島			
実施体制	主催者	函館開港150周年記念事業実行委員会		
	事務局	函館市港湾空港部		
主要事業	・メインイベント「DREAM BOX 150」 ・記念式典			
関連事業	・開港5都市「麺フェスタ」			
構成団体以外の連携先	連携先		取組概要	
	サッポロビール(株)		カウントダウンイベント、記念碑設置など	
	北海道コカ・コーラボトリング(株)		記念バンディング設置	
集客実績	133,500人	概算事業費 (協賛金割合)	13,100万円	(56%)

市町村名	神奈川県 横浜市	事業名称	横浜開港150周年記念テーマイベント「開国・開港Y150」	
テーマ	「出航」			
開催日・期間	平成21年4月28日～9月27日(153日間)			
会場	ベイサイドエリア(みなとみらい21新港地区) ヒルサイドエリア(よこはま動物園ズーラシア未整備地区)			
実施体制	主催者	財団法人横浜開港150周年協会		
	事務局	—		
主要事業	・「ラ・マシ」パフォーマンス ・ステージイベント ・巨大バルーンを使ったナイトショー ・黒船来航イベント ・船舶一般公開 ・市民による企画・出展 等			
関連事業	・祝祭イベント ・市民参加事業 等			
構成団体以外の連携先	連携先		取組概要	
	多種・多数		イベントの主催等	
集客実績 (見込み)	7,160,000人 (5,000,000人)	概算事業費 (協賛金割合)	約157億円	(16%)

※開港150周年記念事業公式記録／横浜市HP <http://www.city.yokohama.lg.jp/bunka/outline/150/record/>

市町村名	兵庫県 神戸市	事業名称	神戸港開港150年記念事業	
テーマ	市民とともに祝い、海、船、港への関心を深め、また、神戸港のさらなる発展のスタート			
開催日・期間	平成29年1月～12月			
会場	神戸港周辺			
実施体制	主催者	神戸開港150年記念事業実行委員会		
	事務局	神戸みなと総局振興課		
主要事業	・国際会議 ・クイーンエリザベス神戸発着クルーズ ・記念式典 ・海フェスタ ・「食」のイベント等			
関連事業	・プレイベントとして夏の海体験イベント ・都心・ウォーターフロントエリアの再開発 ・プレイベントのシンポジウム			
構成団体以外の連携先	連携先		取組概要	
	未定		—	
集客実績	未定		概算事業費	未定

市町村名	長崎県 長崎市			
事業名称	長崎開港記念行事		ながさきみなとまつり	
テーマ	日本最古の貿易港である長崎港の開港の実現に尽くされた幾多の先賢の御霊を慰める。		市民や観光客が港につどい、まつりを楽しむことで、長崎の海と港のすばらしさを再認識し、これからのまちづくりを共に考える機会とするとともに、県内外から多くの来街者を促し、長崎の経済・文化の振興発展に寄与する。	
開催日・期間	毎年4月27日		毎年7月下旬(2日間)	
会場	長崎公園丸馬場(諏訪神社横)		長崎水辺の森公園周辺	
実施体制	主催者	長崎開港記念会		
	事務局	長崎商工会議所		
主要事業	長崎開港記念行事		ながさきみなとまつり	
関連事業	先賢顕彰式、開港記念講演会、ロマン長崎選彰式		露店出店やステージ、花火大会等	
構成団体以外の連携先	連携先		取組概要	
	長崎魚市		長崎開港記念行事にあわせ、魚供養式を実施	
	長崎観光コンベンション協会		長崎開港記念行事にあわせ、ロマン長崎選彰式を実施 ながさきみなとまつりの日にあわせ、長崎ペーロン選手権大会を実施	
集客実績	180,000人 昨年度実績:290,000人 ※ながさきみなとまつりが台風接近により2日間開催から1日開催となったため、集客減		概算事業費 (協賛金割合)	2,785万円 (58%)

■事業概要 <開港記念事業等の実施自治体>

市町村名	北海道 小樽市	事業名称	小樽港開港100周年記念事業	
テーマ	「小樽港新たなる世紀への旅立ち！」			
開催日・期間	平成11年7月～8月			
会場	小樽グランドホテル(式典会場)			
実施体制	主催者	小樽港開港100周年記念事業実行委員会		
	事務局	小樽市産業港湾部港湾室		
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ・記念式典・祝賀会 ・記念フェスティバル(フリーマーケット、出店出展、よさこいソーランなど) ・記念パネル展 			
関連事業	<ul style="list-style-type: none"> ・咸臨丸一般公開 ・巡視船体験航海 ・小樽カップヨットレース ・フェリー船内イベント ・市民ボート・ヨット体験 ・湾岸施設市民見学会 ・日本丸一般公開 ・広井勇・伊藤長工門胸像除幕式 			
構成団体以外の連携先	連携先		取組概要	
	北海道新聞(株)		記念パネル展	
	新日本海フェリー(株)、(社)北海道海事広報協会		記念フェリー周遊	
	森永製菓、ハウステンボス		咸臨丸一般公開	
集客実績	12,000人	概算事業費 (協賛金割合)	1,200万円	(40%)

市町村名	北海道 石狩市	事業名称	石狩湾新港開港20周年記念事業	
テーマ	流(おくる)-創(つくる)-情(つたえる)-石狩(まち)の未来力			
開催日・期間	平成26年8月23日～24日			
会場	港湾背後地の工業団地内特設会場			
実施体制	主催者	開港20周年記念事業石狩市実行委員会		
	事務局	石狩市、石狩商工会議所		
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ・いしかり産業見本市(企業による製品展示や事業PR) ・石狩まるごとフェスタ2014(農商工連携、市内企業・団体による出店) 			
関連事業	<ul style="list-style-type: none"> ・記念シンポジウム ・記念パレード ・働く車展 			
構成団体以外の連携先	連携先		取組概要	
	港湾管理者		式典、祝賀会、寄港船イベント	
	港湾関連機関		港に関するブース出展	
	姉妹都市		物産品の販売、郷土芸能披露	
集客実績 (見込み)	71,000人 (50,000人)	概算事業費 (協賛金割合)	4,400万円	(20%)

市町村名	岩手県 宮古市	事業名称	宮古港開港400周年記念事業	
テーマ	慶長16(1611)年に慶長奥州地震津波で被害を受けた5年目である1615年に、南部27代当主(初代盛岡藩主)の南部利直公が宮古を訪れ、宮古を藩の外港に定めた。 平成27(2015)年は、それから400周年、かつ、平成23(2011)年の東日本大震災から5年目の節目の年にあたることから、宮古港の歴史を振り返り、東日本大震災からの復旧・復興状況を全国に情報発信し、更なる宮古港の発展を目指して各種事業を行う。			
開催日・期間	平成27年度			
会場	宮古駅前～宮古市役所、宮古市民文化会館、藤原ふ頭 など			
実施体制	主催者	宮古港開港400周年記念事業実行委員会		
	事務局	宮古市産業振興部産業支援センター港湾振興室		
主要事業	・オープニングセレモニー ・記念式典・講演会 ・宮古港歴史展・復興展 ・客船・帆船寄港 ・宮古ワンナイトクルーズ ・国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会 など			
関連事業	・みなとオアシスSea級グルメ全国大会への参加(H24年度からH26年度まで計4回) ・宮古市Sea級グルメコンテストの開催(H24年度からH26年度まで計3回)			
構成団体以外の連携先	連携先		取組概要	
	報道機関(自治体の記者クラブ)		後援、協力等(名義、取材)	
	各事業実施団体		各団体主催の事業に「宮古港開港400周年記念」という冠(かんむり)を付けて実施	
集客実績	※複数の事業が行われたため、正確な全体の集客人数記録がありません。		概算事業費 (協賛金割合)	3,581万円 (0%)

市町村名	秋田県 男鹿市	事業名称	船川港築港100周年記念事業	
テーマ	なし			
開催日・期間	平成23年4月～平成23年11月			
会場	船川港			
実施体制	主催者	船川港築港100周年記念事業実行委員会		
	事務局	男鹿市総務企画部船川港記念事業推進室		
主要事業	・客船、帆船、復元船、海上自衛隊艦艇などの入港歓迎イベント			
関連事業	・船川港資料展示 ・港の活性化を考えるシンポジウム ・土木遺産シンポジウムin船川			
構成団体以外の連携先	連携先		取組概要	
	男鹿市商工会		各種イベントでの物産出店者の取りまとめ	
	男鹿市観光協会		各種イベントでの観光PR	
	男鹿市ボランティア連絡協議会		各種イベントへのボランティアスタッフ派遣	
集客実績	269,000人		概算事業費 (協賛金割合)	1,637万円 (9%)

市町村名	福島県 いわき市	事業名称	小名浜「胃・飾・縦」プロジェクト	
テーマ	<p>【いわき市市制施行50周年記念事業プレゼン大会について】 当市では、今年度、市制施行50周年という大きな節目に対する市民の気運の醸成を図るとともに、市民等の提案を記念事業に反映するため、記念事業のアイデアを公募し、プレゼンテーションを踏まえて実現に向けた事業選定を行う「いわき市市制施行50周年記念事業プレゼン大会」を開催した。 『小名浜「胃・飾・縦」プロジェクト』は、地域団体「小名浜まちづくり市民会議」から提案され、プレゼン大会において優秀賞を獲得し、開港60周年事業として、官民連携の上、実施する予定。 【テーマ・コンセプト】 平成28年は、東日本大震災からの復興のシンボルとして様々な事業が進められている小名浜港の開港60周年にもあたる記念すべき年となっている。 そこで、多くの主体が連携しながら、復興の力みなぎる小名浜港の様々な資源を活用した事業を展開することにより、通年で大きな賑わいを創出するとともに、小名浜港を通して地域への愛着心・誇りを醸成し、元気ないわき市の姿を広く発信する。 「胃」…小名浜ならではの食や食育を通した多彩なイベントを開催 「飾」…水産、産業、観光、教育にスポットを当て、開港60周年にふさわしい市民参加型のイベントを通年で開催。 「縦」…港と市街地を縦断させるイベントを開催し、小名浜地区における回遊性と一体化を高める。</p>			
開催日・期間	平成28年度中に、様々なイベントを実施予定			
会場	小名浜港周辺			
実施体制	主催者	小名浜「胃・飾・縦」プロジェクト実行委員会		
	事務局	市、小名浜まちづくり市民会議		
主要事業	・地元イベント ・歓迎訪船事業 ・開港60周年記念シンポジウム			
関連事業	—			
構成団体以外の連携先	連携先		取組概要	
	—		—	
集客実績	—		概算事業費	議決前であり、公表できません。

市町村名	山形県 酒田市	事業名称	酒田港開港500年記念事業	
テーマ	五百年の歴史を帆(セール)にのせて夢宣言			
開催日・期間	平成4年(1年間)			
会場	イベントごとに異なる			
実施体制	主催者	酒田港開港500年事業実行委員会		
	事務局	酒田市		
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ・日本丸in酒田 ・サンセットクルーズ500 ・記念式典 ・シンポジウム ・ウラジオストック親善ヨットクルーズ ・環日本海大物産市 ポートフェスタ500 ・東方水上シルクロード大討論会 ・酒田港歴史紹介 今甦る「国府の火まつり」 ・坂田湊の歴史展示 ・日本海食文化フォーラム500イン酒田 ・夢・未来・希望 港の絵・作文コンクール 			
関連事業	<ul style="list-style-type: none"> ・酒田港まつり ・庄内空港発ウラジオストック友好の翼 ・酒田港開港500年記念'92マリンフェスティバルin酒田 ・酒田港開港500年記念酒田港底引き漁船地魚まつり ・黒竜江省代表団 ・NHK「ふるさと民謡広場」 ・酒田港開港500年記念観光協会主催イベント ・はえぬき・どまんなか首都圏PR作戦 ・庄内米キャンペーン コメロードSAKATAin新宿 ・東方水上シルクロード貿易促進協議会 			
構成団体以外の連携先	連携先		取組概要	
	—		—	
集客実績	不明		概算事業費	不明

市町村名	新潟県 糸魚川市	事業名称	姫川港開港40周年記念事業	
テーマ	—			
開催日・期間	主要事業 — 関連事業 平成25年8月3日(土)~4日(日)			
会場	姫川港内			
実施体制	主催者	ポートフェスティバル実行委員会		
	事務局	糸魚川市商工農林水産課内		
主要事業	・記念式典 ・ジオパーク大使による記念トークショー			
関連事業	・日本丸寄港 ・船上体験 船上釣り体験 ・グラウンドゴルフ			
構成団体以外の連携先	連携先		取組概要	
	—		—	
集客実績(見込み)	24,000人 (10,000人)		概算事業費	380万円

市町村名	新潟県 佐渡市	事業名称	小木港開港四百年記念式典・祝賀会	
テーマ	開港四百年を祝い、小木港の活性化及び小木港の魅力を島外に発信し、観光等交流人口の拡大を図る。			
開催日・期間	平成26年5月10日			
会場	あゆす会館			
実施体制	主催者	佐渡市(式典)、実行委員会(祝賀会)		
	事務局	佐渡市総合政策課、小木町商工会		
主要事業	・記念式典 ・祝賀会			
関連事業	・クルーザーミーティング			
構成団体以外の連携先	連携先		取組概要	
	—		—	
集客実績	154人 ※式典・祝賀会		概算事業費	193万円 ※式典・祝賀会

市町村名	富山県 高岡市	事業名称	伏木港は魅力いっぱい船いっぱい！港で働く船大集合	
テーマ	伏木万葉ふ頭供用開始15周年を祝い、伏木地域の活性化を図る			
開催日・期間	平成25年8月3日(土)			
会場	伏木港一帯			
実施体制	主催者	伏木港まつり実行委員会		
	事務局	高岡市みなと振興局		
主要事業	・働く船大集合イベント オープニングセレモニー ・ゆるキャラ大集合 ・業務艇等の一般公開、体験航海			
関連事業	なし			
構成団体以外の連携先	連携先		取組概要	
	国土交通省		船の一般公開	
	富山県		船の一般公開	
	海上自衛隊		船の一般公開	
	海上保安庁		船の一般公開	
	伏木税関支署		船の一般公開	
	伏木消防署		船の一般公開	
集客実績(見込み)	6,000人 (6,000人)		概算事業費(協賛金割合)	150万円 (80%)

市町村名	石川県 七尾市	事業名称	七尾港開港110周年事業	
テーマ	—			
開催日・期間	平成21年7月～9月			
会場	七尾マリンパーク、能登食祭市場、矢田新第一埠頭、第二埠頭			
実施体制	主催者	七尾市、七尾港整備・振興促進協議会		
	事務局	七尾市産業部産業政策課(現:産業振興課)		
主要事業	・七尾港開港110周年記念式典 ・練習帆船「日本丸」入港歓迎事業 ・客船「ばしふいっくびいなす」歓迎事業			
関連事業	・七尾港まつり ・自衛艦入港歓迎式典 ・なつかしの七尾港 写真展、七尾港フォトコンテスト、こども写真会			
構成団体以外 の連携先	連携先		取組概要	
	—		—	
集客実績	15,000人		概算事業費	300万円

市町村名	福井県 敦賀市		
市町村名	敦賀港開港110周年記念シンポジウム	クルーズ客船体験航海事業 (敦賀港開港110周年記念事業)	
テーマ	港湾力で切り拓く日本海新時代	クルーズ客船に直接ふれあうことで、港や海に対する関心と理解を高め、敦賀港の賑わいを創出する。また、船内で式典を開催し、県内外に広く敦賀港をアピールする。	
開催日・期間	平成21年11月14日(土)		平成21年8月2日(日)
会場	敦賀観光ホテル		クルーズ客船「パシフィックびいなす号」船内
実施体制	主催者	敦賀港開港110周年記念シンポジウム開催実行委員会	敦賀市
	事務局	—	敦賀市産業経済部国際交流貿易課
主要事業	シンポジウム(基調講演・パネルディスカッション)		記念式典
関連事業	—		—
構成団体以外 の連携先	連携先	—	日本クルーズ客船(株)
	取組概要	—	クルーズ客船体験航海運營業務
集客実績 (見込み)	157人(200人)		599人(585人)
概算事業費	298万円		368万円

市町村名	神奈川県 横須賀市	事業名称	横須賀港開港150周年記念 帆船「日本丸」招致事業	
テーマ	横須賀市全体の事業として実施した「横須賀製鉄所(造船所)150周年記念事業」の一環として、横須賀で建造された帆船「日本丸」を久里浜港に招致し、集客による経済効果(地元地域とも連携)、横須賀港のPR・イメージアップ及びポートセールスへの波及効果、子どもたちが海・港・船に興味を持つ機会の創出などを目的としてイベントを実施。			
開催日・期間	平成27年10月15日～19日			
会場	久里浜港			
実施体制	主催者	横須賀市		
	事務局	横須賀市 港湾部 港湾企画課 港湾振興係		
主要事業	・入港歓迎式典(招待者のみ) ・シップスクール(小学生対象の校外学習) ・セイルドリル ・船内一般公開 ・出港(登檣礼)			
関連事業	なし			
構成団体以外 の連携先	連携先		取組概要	
	海技教育財団、事業者(飲食)		日本丸グッズ販売などのブースを出店	
	陸上自衛隊		和太鼓の演奏	
	東京電力		臨時駐車場用地の提供	
集客実績	16,000人(10,500人)		概算事業費	446万円

市町村名	神奈川県 三浦市	事業名称	三崎開港祭
テーマ	三浦ファンの交流イベントとして開催		
開催日・期間	平成27年10月10日～11日		
会場	円照寺、産直施設うらり		
実施体制	主催者	三崎開港祭実行委員会	
	事務局	三浦市市民部市民協働課	
主要事業	・市民参加マーケット ・音楽ライブ		
関連事業	・クラフト作家マーケット「手づくり作品市」		
構成団体以外の連携先	連携先		取組概要
	特になし		—
集客実績	3,000人	概算事業費	30万円

市町村名	静岡県 静岡市	事業名称	清水港100周年記念事業
テーマ	PORT OF SHIMIZU1999 開港100年 未来へ元年 本県の国際化や海外との交易の窓口として清水港の果たしてきた役割を振り返り、開港100周年を祝うとともに、21世紀における都市と一体化した未来の「みなとの姿」を探究し、創造する。また、併せて地域レベルの国際化を推進する。		
開催日・期間	1999(平成11年)7月～11月		
会場	清水マリナーミナル、清水港日の出埠頭		
実施体制	主催者	清水港開港100周年の会	
	事務局	静岡県、静岡市(旧清水市)、民間 三者で構成	
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ・記念式典(式典、講演会、祝賀会) ・清水港開港100年史刊行 ・清水ポートフォーラム(記念講演、パネルディスカッション、レセプション) ・港づくりシンポジウム、みなとまるごと博物館、浪漫館14ミュージアム ・国際ゆめ市(テーマゾーン、フェスティバルゾーン、バザールゾーン) ・帆船フェア9隻(特別参加1隻含む)(一般公開、体験乗船会、一日セイルトレーニング) 		
関連事業	<ul style="list-style-type: none"> ・寄港船の歓迎セレモニー ・船舶の展示 ・一般公開 ・体験乗船 ・港内遊覧 ・プラスバンドフェスティバル 		
構成団体以外の連携先	連携先		取組概要
	海上自衛隊横須賀地方総監部		駿河湾マリンフェスタ'99
	シアターオリンピックス実行委員会		シアターオリンピックス「忠臣蔵」
	清水駅前銀座商店街振興会		マグロ鉄火巻 日本一に挑戦
	開港100周年記念クルーズ実行委員会		飛鳥「県民クルーズ」
	SHIMIZUドリームサッカー実行委員会		SHIMIZUドリームサッカー
集客実績	1,433,600人	概算事業費	不明

市町村名	静岡県 下田市	事業名称	黒船祭(くろふねさい)
テーマ	下田開港に尽くした内外先賢の慰霊を顕彰し、併せて世界平和と国際親善に寄与することを目的とする。 第77回テーマ:幕末タイムスリップ		
開催日・期間	毎年5月第3土曜日を含む金、土、日の3日間。H28年度は5月20日(金)～22日(日)		
会場	市内各所		
実施体制	主催者	黒船祭執行会	
	事務局	下田市役所 観光交流課	
主要事業	・歓迎交流会 ・献花式 ・記念式典 ・公式パレード		
関連事業	特になし		
構成団体以外の連携先	連携先		取組概要
	米海軍横須賀基地司令部		公式行事への参加、サンセットコンサート出演、交流行事(小学校、スポーツ大会)への参加
	海上自衛隊横須賀地方総監部		公式行事への参加、サンセットコンサート出演、交流行事(スポーツ大会)への参加
集客実績(見込み)	183,000人 (200,000人) 【H27実績】	概算事業費(協賛金割合)	2,970万円 【H27実績】 (33%)

市町村名	愛知県 名古屋市	事業名称	名古屋港開港100周年記念事業	
テーマ	「モノづくり中部」を支える名古屋港の開港100周年を地域全体で祝い、その歴史と重要性を広く国内外へ発信し、次の100年に向け更に飛躍する名古屋港の姿を創造する。			
開催日・期間	平成19年1月～12月			
会場	名古屋港ガーデンふ頭			
実施体制	主催者	名古屋港開港100周年記念事業実行委員会		
	事務局	名古屋港管理組合 総務部百周年事業担当		
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋港開港100周年開港祭記念式典・祝賀会 ・海フェスタなごや～海の祭典2007～ ・開港祭 			
関連事業	<ul style="list-style-type: none"> ・海の総合展 みなとふれあいパビリオン ・海フェスタなごや記念シンポジウム ・マリンフェスティバル 			
構成団体以外の連携先	連携先		取組概要	
	中日新聞社・中部日本放送		名古屋開港100周年記念 アジア発・世界最新「恐竜大陸」	
	財団法人名古屋みなと振興財団		名古屋開港100周年記念 「第40回名古屋港港湾ゼミナール」等	
	名古屋産業遺産研究所		名古屋港開港100周年記念 「名古屋の都市づくりと名古屋港の産業遺産展」	
集客実績	3,180,000人	概算事業費 (協賛金割合)	38,000万円	(2%)

市町村名	兵庫県 姫路市	事業名称	姫路港開港50周年記念事業	
テーマ	みなとが拓く播磨の未来			
開催日・期間	平成21年4月～8月			
会場	姫路港(飾磨港区)			
実施体制	主催者	姫路港開港50周年記念事業実行委員会		
	事務局	兵庫県中播磨県民センター		
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ・記念式典 「港と船のミュージアム」 ・みなとスプリングフェスタ、海の日記念フェスティバル 			
関連事業	<ul style="list-style-type: none"> ・記念シンポジウム ・海王丸の寄港と公開 ・みなとフォトコンテスト 			
構成団体以外の連携先	連携先		取組概要	
	—		—	
集客実績	131,121人	概算事業費 (協賛金割合)	3,828万円	(33%)

市町村名	京都府 舞鶴市	事業名称	京都舞鶴港築港100周年記念 帆船「日本丸」寄港	
テーマ	築港100周年を記念して、一般公開や小学生を対象にシップスクールを開催			
開催日・期間	平成25年7月26日(金)～7月30日(火) 5日間 ・船内見学:7月28日(日) ・シップスクール:7月29日(月)			
会場	京都舞鶴港西港 第2ふ頭			
実施体制	主催者	舞鶴市産業振興部みなと振興・国際交流課		
	事務局	—		
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ・船内一般公開 ・小学生対象のシップスクール ・セイルドリルはなし 			
関連事業	<ul style="list-style-type: none"> ・日本丸船長のトークショー ・地元高校生の書道パフォーマンス 等 ・地元の物産展や露店 			
構成団体以外の連携先	連携先		取組概要	
	東舞鶴高校		ステージでの司会運営等	
	地元飲食店等		露店での出店	
	商工会議所等		ゆるキャラの派遣	
集客実績	—	概算事業費 (協賛金割合)	199万円	(0%)

市町村名	岡山県 倉敷市	事業名称	水島港開港50周年記念行事		
テーマ	水島港が昭和37年4月1日に水島臨海工業地帯の玄関口として世界に門戸を開き50周年を迎えるにあたり、水島港発展の足跡について広く理解を深めてもらうとともに、今後の水島港の発展に協力を得るために開催。				
開催日・期間	平成24年8月3日(金)～5日(土)				
会場	倉敷市環境交流スクエア ほか				
実施体制	主催者	水島港開港50周年記念行事実行委員会			
	事務局	岡山県備中県民局水島港湾事務所			
主要事業	・開港50周年記念行事オープニングセレモニー ・港、貿易、産業展 ・小学生絵画展、・水島港見学会 ・巡視艇体験航海 ほか				
関連事業	特になし				
構成団体以外の連携先	連携先		取組概要		
	倉敷市出身スケート選手 高橋大輔選手		オープニングセレモニー出席、プレゼント用サイン色紙提供		
	水島少年少女合唱団、子ざくら保育園		合唱、鼓隊演奏		
	中国大連港集团有限公司訪問団		オープニングセレモニー出席		
集客実績	2,700人		概算事業費 (協賛金割合)	319万円 (37%)	

市町村名	岡山県 玉野市	事業名称	宇野港築港100周年記念事業		
テーマ	平成21年度の宇野港築港100周年を記念し、記念の冠イベントを年間通じて開催する。				
開催日・期間	平成21年度内				
会場	宇野港第一突堤				
実施体制	主催者	宇野港航路誘致推進協議会			
	事務局	岡山県土木部港湾課、玉野市商工観光課			
主要事業	・客船入港セレモニー				
関連事業	・テープカット ・宇野港DVD上映会 ・連絡船100周年プレイベント ・クルージング&港の学習会				
構成団体以外の連携先	連携先		取組概要		
	—		—		
集客実績	—		概算事業費	—	

市町村名	広島県 広島市	事業名称	宇品築港記念式典		
テーマ	明治22年(1889年)に、宇品港(現広島港)を完成させた広島県令千田貞暁氏の命日(4月23日)に、同氏の偉業を讃えるため、「宇品港築港記念式典」を毎年開催している。				
開催日・期間	毎年4月23日				
会場	千田廟公園				
実施体制	主催者	広島県及び広島市の共催			
	事務局	広島市都市整備局港振興課			
主要事業	・記念式典				
関連事業	なし				
構成団体以外の連携先	連携先		取組概要		
	千田貞暁翁遺徳顕彰会		千田貞暁翁遺徳顕彰祭		
集客実績 (見込み)	100人 (100人)		概算事業費	17万円	

市町村名	山口県 下関市	事業名称	馬関港開港150周年記念行事	
テーマ	下関港の前身である馬関港が150周年を迎えた			
開催日・期間	平成26年			
会場	下関港あるかぼーと			
実施体制	主催者	下関市・下関港湾協会		
	事務局	下関市港湾局振興課		
主要事業	・客船・帆船のイベント			
関連事業	—			
構成団体以外の連携先	連携先		取組概要	
	山口県、他市、船社、旅行会社		—	
集客実績	—		概算事業費	—

市町村名	山口県 岩国市	事業名称	岩国港築港200年	
テーマ	みなと いわくに 200			
開催日・期間	平成23年3月21日～12月20日			
会場	岩国港			
実施体制	主催者	岩国港築港200年記念事業実行委員会		
	事務局	岩国港港湾福祉センター、岩国市水産振興課		
主要事業	・船舶の誘致			
関連事業	・記念写真集の作成 ・写生大会 ・ポートセミナー(講演)			
構成団体以外の連携先	連携先		取組概要	
	—		—	
集客実績	55,000人		概算事業費	587万円

市町村名	愛媛県 今治市	事業名称	今治港開港90周年記念事業	
テーマ	交通から交流のみなとへ			
開催日・期間	平成24年度中			
会場	今治港及び今治国際ホテル			
実施体制	主催者	今治市港湾振興協会		
	事務局	今治市農水港湾部港湾振興局		
主要事業	・記念式典 ・講演会 ・記念クルージング ・帆船クルージング ・帆船体験研修 ・DVD作成 ・自衛艦寄港 ・訓練船寄港			
関連事業	・記式典 ・講演会 ・クルージング			
構成団体以外の連携先	連携先		取組概要	
	特になし		—	
集客実績 (見込み)	1,000人 (1,000人)		概算事業費 (協賛金割合)	450万円 (市補助金100%)

市町村名	福岡県 北九州市	事業名称	北九州港開港120周年記念事業	
テーマ	「身近な港 楽しい海辺 再発見！」			
開催日・期間	平成21年度の1年間			
会場	—			
実施体制	主催者	北九州港開港120周年記念事業実行委員会		
	事務局	港湾空港局総務経営課(現:総務課)		
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ・北九州港開港120周年記念式典 ・港の不思議 探検ツアー ・第48回日本港湾経済学会全国大会 ・北九州港みなとまちづくり大賞表彰 ・出張!なんでも鑑定団in北九州 ・「海・船・港」に関する標語コンクール ・ビーチ・フェスタ ・北九州港開港120周年記念講演会 			
関連事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ひびきコスモスウォーク ・「海と船と港が結ぶ」日韓青少年美術交流展 			
構成団体以外の連携先	連携先		取組概要	
	—		—	
集客実績	26,000人 メインイベントのみ集計		概算事業費 (協賛金割合)	3,470万円 (36%)

市町村名	福岡県 大牟田市	事業名称	三池港開港100周年事業	
テーマ	三池港100年の歴史を力に 今、未来へこぎだそう			
開催日・期間	平成20年7月21日(祝)、7月28日(月)、8月8日(土)、8月9日(土)～13日(水)			
会場	三池港公共ふ頭、三池港湾労働者福祉センター、旧三井港倶楽部			
実施体制	主催者	三池港開港100周年記念事業実施本部		
	事務局	—		
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ・三池港開港100周年記念式典・團琢磨顕彰碑除幕式等 ・帆船「日本丸」寄港イベント ・環境整備船「海輝」寄港イベント ・工場見学会 ・観光・物産・バザー展 ほか ・護衛艦「おおよど」寄港イベント ・ステージイベント ・「みなと」パネル展 ・TantoTantoウォーク ・團琢磨展 			
関連事業	<ul style="list-style-type: none"> ・記念シンポジウム ・海の日イベント ・夢プロジェクト展示会・フォトコンテスト 			
構成団体以外の連携先	連携先		取組概要	
	—		—	
集客実績	153,065人		概算事業費 (協賛金割合)	4,025万円 (58%)

市町村名	大分県 大分市	事業名称	大分港開港50周年記念事業	
テーマ	みなとフェスOITA			
開催日・期間	H27. 9月19日(土) 西大分会場 H27. 10月31日(土)～11月1日 大在会場			
会場	大分港大在公共埠頭			
実施体制	主催者	大分港開港50周年記念事業実行委員会		
	事務局	大分県商工労働部工業振興課		
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ・開会式典 ・帆船「海王丸」その他船舶一般公開 ・大分港関係企業・国機関等PRコーナー ・防災・防衛フェア ・飲食 ・ステージイベント ・見学ツアー ・パネル展(大分港の歴史) 			
関連事業	<ul style="list-style-type: none"> ・フードフェスタ ・クルージング 			
構成団体以外の連携先	連携先		取組概要	
	(株)大宣		広報企画、ブース出展、ステージイベント等	
	大分バス、大分交通		シャトルバス	
集客実績	29,000人		概算事業費 (協賛金割合)	2,100万円 (33%)

アンケート調査結果を受けた、今後の課題など

アンケート調査結果を踏まえ、開港 150 周年記念事業に向けた今後の課題などを以下に整理する。

1. 記念事業の企画及び準備の早期着手

問 1（企画・準備段階での苦勞）において、「各種交渉」や「予算確保」で苦勞したとする回答が多く寄せられていることから、事業に向けては早い時期に準備を始めるとともに、変更に伴う調整も含めて時間の余裕を確保しておくことが望ましい。

また、実行委員会等の組織化や、市民参加を誘発するための企画・準備等も早めの対応が求められる。

問 15（先進地としてのアドバイス）において、**横須賀市**では「関係機関・関係者との早めの調整・説明を実施し、理解と協力を得ることが結果的に事業を円滑に進められる」とあり、**大分市**では「港湾を利用したイベントには制約が多いため、港湾管理者との十分な調整が必要」との指摘がある。また、**名古屋市**では「実行委員会の組織化に先立って検討組織を立ち上げた」とある。

2. 市民の関心を高め、協力を得る工夫

問 2（市民の主体的参加を進める工夫）において、「プレイベント」による気運醸成や「講演会」を行ったとの回答が多く寄せられたことから、メインイベントの前に様々な取り組みを行うことで市民をはじめ関係者の気運を高め、当日も講演会等の集客力のある企画が必要である。

また、ワークショップ等を通じて企画、準備、設営、運営のあらゆる段階で主体的な市民・市民団体が参加した（**函館市**、**横浜市**、**石狩市**、**静岡市**）ことで一体感や達成感が得られたことから、その後のまちづくり等への継続的・積極的な市民参加が期待される。

問 3（市民向けの広報）においては、効果の高かったものとしても多数の回答が寄せられた「テレビ・新聞・雑誌」、「市報」のように、市民が日頃、意識的あるいは無意識的に目や耳にするメディアをはじめ、「既存行事との連携」により効率的・効果的な広報を行うことが望ましい（**岩国市**では既存の花火大会との連携）。

問 9（市民参加や関係者連携でのメリット・デメリット）において、**七尾市**では「港に関わるイベント全てに『110 周年記念事業』と銘打った」とあり、問 3（市民向けの広報）において、**横浜市**では「開港新聞の発行」を行ったとあることから、開港に特化した広報も効果的である。

また、問 15（先進地としてのアドバイス）において、**今治市**の回答にあるように「関心のない市民に興味をもってもらえる」よう、HP の他、各種ソーシャルメディアにより若者を中心に幅広い市民の関心・参加意欲の醸成を図る工夫も必要である。資金や人材の確保、企画・運営面においてはクラウドファンディング[※]やクラウドソーシング[※]等の活用も考えられる。

※クラウドファンディング：クリエイターや起業家が製品・サービスの開発、もしくはアイデアの実現などの「ある目的」のために、インターネットを通じて不特定多数の人から資金の出資や協力を募ること。群衆（crowd）と資金調達（funding）を組み合わせた造語。

※クラウドソーシング：インターネットを利用して不特定多数の人に業務を発注したり、受注者の募集を行うこと。群衆（crowd）と業務委託（sourcing）を組み合わせた造語。

なお、こうしたイベントに必須の各種キャラクターグッズについても市民による公募、製作を行うと、意識醸成に効果的である。

3. 開港行事及び新潟港ならではの特徴づくり

問4・問5（当該地の特色）、問7（誘導策）、問15（先進地としてのアドバイス）における回答より、以下に整理する。

（1）コンセプトの早期明確化

港の歴史文化を現代、そして未来につながるまちづくりへの波及効果も考慮すると、様々な分野にわたるため、統一的なコンセプトを設定し（**名古屋市**）、市民をはじめ関係機関との合意形成を早い段階から図っておく必要がある。

アンケート調査結果を参考にしながら、新潟港ならではの特徴や風情（信濃川・阿賀野川流域の田園とつながる川港、「旧小澤家住宅・北前船の時代館」、日和山、花街、東アジア・環日本海のゲートウェイとしての位置づけ等）をいかに活用し、PRするかがポイントとなる。

（2）多様な関係者間の連携

市役所内では担当課のみでなく全庁職員の協力体制が不可欠であり（**下田市**）、**広島市**では「県・市・商工会議所、地元選出議員、地元住民等による意思統一」、**長崎市**では「商工会議所青年部、青年会議所、青年協会、市民の会による幹事会の他、商工会議所・市、関連団体による実行委員会の組織化」等に見られるように、多様な協力・連携が必要となる。

賑わい創出や飲食関係では地元商店街や商工会関係者の協力が中心となり（**下田市**：「開国市」）、子どもが関わるものについては学校関係者や保護者等との調整が必要となる。

なお、港間の連携においては開港4都市の他、北前船の寄港地間連携も考えられる。

（3）集客拠点の形成と、移動環境の確保

事業規模にもよるが、広域的なまちづくりへの波及効果を高めるため、中心拠点+サブ拠点といった分散配置や、それに伴う情報拠点の設置が望ましい（**横浜市**：マザーポートエリア内に24か所の情報ステーション）。

また、駐車場の確保が困難であり、混雑抑制のためにも公共交通機関の利用を促すとともに、交通結節点や商業施設、観光拠点等とシャトルバスで結ぶ等の対応も求められる。

（4）長期的に幅広い世代に知って・楽しんでもらえる工夫

新潟港の歴史を知り、みなと町としての認識を深め、今後のまちづくりに活かすことが求められるが、まずは港に老若男女が集い、県内外からの来訪者も歓迎し、楽しめる仕掛けが必要である。

長崎市のコンセプトでは、「日本最古の貿易港として開港に尽くされた先賢の御霊を慰めることと、市民や観光客が港につどい、まつりを楽しむことで、長崎の海と港の素晴らしさを再認識し、今後の街づくりを共に考える機会とするとともに、県内外から多くの来街者を促し、長崎経済・文化の振興発展に寄与する」とある。

また、開港150周年ということで、**七尾市**の回答にもあるように「年間を通じて、また季節の定期的な行事等との連携により、広報や意識醸成、メイン行事に向けた盛り上がりの創出が

望ましい」。新潟市で連携が考えられる既存の行事として、開港記念祭を含む8月の「新潟まつり」は、身近に港を感じ新潟の夏を楽しむ7月～9月のキャンペーン『新潟みなと水遊記』にも位置づけられており、筆頭に挙げられる。その他、「にいがた総おどり」や「新潟市芸能まつり」、「ラ・フォル・ジュルネ」、「新潟春祭り」、「がたふえす」等の芸能イベントの他、「にいがた食の陣」や「にいがた酒の陣」、「国際ご当地グルメグランプリ」、「SEA 級グルメ」等、全県・全国レベルの食のイベントが挙げられる。

さらに、「新潟シティマラソン」や、新潟で開催される「Jリーグ（横浜・神戸・[札幌・長崎]）」や「BJリーグ（横浜）」、「プロ野球（横浜・阪神・北海道）」等のスポーツイベントにおけるPRも有効である。

広報については、各種メディアの活用やチラシ配布をはじめ、観光拠点や交通結節点でのポスター貼付、JRやバス等の公共交通機関を活かしたPR（車内での広報等）も効果的である。

（5）次世代の参加と活躍

「子どもの参加」（高岡市、七尾市、静岡市）は、微笑ましい雰囲気づくりとともに、教育や次世代継承の面の効果も期待される。教育機関との交渉を早めに行うことが求められる。

4. 当日運営の留意点

問8（アクシデント対策）の回答にもあるように、当日運営においては天候対策、交通アクセス及び駐車場の確保、シャトルバスの検討、その他の安全危機管理の対策（災害やテロ等）が必須となる。

問9（市民参加や関係者連携でのメリット・デメリット）では、函館市の指摘にあるように「貴重なマンパワーとなるボランティアの確保」が重要であるが、一方でこうしたボランティアの意思統一を図るためのリーダーの育成や仕組みづくり等が事前に必要である。

また、有料分野の集客見込みの設定においては、内容や予算、規模等を踏まえた十分な吟味が必要である（横浜市で有料入場者の大幅少）。

5. 記念事業を契機とした自主的な取り組み・持続性の確保

問10（波及効果）の回答では、「イメージアップ」、「歴史・文化を学ぶきっかけ」が多数を占めており、問11（自発的取り組み）の回答では、「若者や地元商店街の主体的な取り組みの継続」（函館市、横浜市）の他、「昭和59年より清水港と青島港と友好港湾提携」（静岡市）とある。

問12（今後の課題）において、「来訪者への効果的なPRや情報発信」、「観光拠点づくり」、「市民全体の意識醸成」が回答の上位を占めており、問13（持続するための方策・支援策）においては、「官民連携による新組織の創設」（横浜市：文化観光局、いわき市：みなとオアシス連絡協議会、静岡市：都市デザイン専門家会議）、「景観形成や条例制定等のまちづくりへの反映」（小樽市：まちづくり景観条例、酒田市：景観形成）、「財政支援や観光関連事業の推進」（佐渡市、高岡市、横須賀市、名古屋市、今治市）等、地域の特性を活かした様々な取り組みが行われている。

都市規模や歴史的経緯、企画内容等により事業規模は多種多様であるが、事業初動の市民参加や関係者との連携、意思統一による一体感・達成感が満足感や積極性を醸成し、市民主体のまちづくりや維持管理の持続化につながっていく可能性が高い。

■資料編

開港4都市用 アンケート依頼文・アンケート調査票

中 自 協 第 1 6 号
平成 28 年 1 月 15 日

〇〇県〇〇市役所
まちづくり・観光担当課 御中

新潟市中央区自治協議会
会長 豊嶋 直美
(事務局 新潟市中央区役所地域課)

「開港 150 周年記念事業」に関する調査へのご協力について（依頼）

時下、ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。

新潟湊は、江戸時代から北前船の寄港地として賑わい、人や物や文化がここを拠点に交流しました。明治元年 11 月 19 日、安政五カ国条約によって開港地に指定された新潟港が開港し、湊町新潟が世界へ開かれた瞬間でした。

現在、新潟港は国際拠点港湾、中核国際港湾に発展し、東アジアへの玄関口として、また、環日本海交流の拠点として歩んでいます。そして、2019 年に開港 150 周年を迎えます。

新潟市中央区自治協議会では、過去 2 年間に渡り、かつて北前船寄港地として栄えた新潟湊の賑わいや街並みを、現代そして未来にふさわしい新潟のまちづくりに生かすため、調査、研究、活動を行ってきました。そして、今年度から、いよいよ開港 150 周年に向けた取組みを始めています。

新潟に先行して開港 150 周年を迎える他の開港 4 港では、開港記念行事をはじめ、多様で特色ある観光振興やまちづくりが展開されています。そこで、開港関連の取組みの特徴や課題などをお伺いすることにより、新潟での開港記念事業や関連するまちづくりに役立てたいと考え、新潟を除く開港 4 港の自治体様を対象に本アンケート調査を実施させていただくことといたしました。インターネット等で概要の把握はできますが、市民参加の状況などを中心に、ご当地もしくはご関係者ならではの忌憚のないご意見・ご感想をお聞かせいただきたく存じます。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、ぜひともご回答を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1 調査内容
「開港 150 周年記念事業」に関するアンケート調査
- 2 調査票の回答期限
平成 28 年 2 月 3 日（水）

3 調査票の提出先

〒951-8550 新潟県新潟市中央区学校町通1番町602番地1
新潟市中央区自治協議会事務局（新潟市中央区役所地域課内）

4 その他

調査票の返送にあたっては、同封の返信用封筒、FAX、E-mailいずれにおいても可能です。
調査票様式データが必要であれば、下記問い合わせ先までその旨ご連絡願います。

また、ご担当の部署が異なる場合は、お手数お掛けしますが転送していただけますよう、ご協力をお願いいたします。

※「新潟市中央区自治協議会」について

「新潟市中央区自治協議会」は新潟市中央区の区民と行政が一体となって地域の特色あるまちづくりを進めるため、地方自治法に基づいて各区に設置されている新潟市の附属機関です。協議会の委員は、各地域コミュニティ協議会や公共的団体からの選出者、学識経験者や公募委員で構成されています。

【問い合わせ先】

新潟市中央区自治協議会事務局
新潟市中央区役所地域課 企画担当
外川（とがわ）、小柳（こやなぎ）
TEL：025-223-7023 FAX：025-223-3660
E-mail：chiiki.c@city.niigata.lg.jp

「開港 150 周年記念事業」に関するアンケート調査票

※各設問それぞれ、あてはまるものに○付けや、具体的な内容をご記載ください。

1. 近年、貴所で実施された（される）開港 150 周年等記念事業の「概要」をお聞かせください

①正式名称・通称											
②テーマ・コンセプト											
③開催日や期間											
④メイン会場											
⑤実施体制	主催者名： (事務局：)										
	構成団体等 ※あてはまるものすべてに○	<table border="0"> <tr> <td>1. 国</td> <td>2. 都道府県</td> </tr> <tr> <td>3. 市町村</td> <td>4. 観光協会</td> </tr> <tr> <td>5. 港湾振興協会</td> <td>6. 商工会議所・商工会</td> </tr> <tr> <td>7. 青年会議所</td> <td>8. NPO・市民団体</td> </tr> <tr> <td>9. マスコミ</td> <td>10. その他 ()</td> </tr> </table>	1. 国	2. 都道府県	3. 市町村	4. 観光協会	5. 港湾振興協会	6. 商工会議所・商工会	7. 青年会議所	8. NPO・市民団体	9. マスコミ
1. 国	2. 都道府県										
3. 市町村	4. 観光協会										
5. 港湾振興協会	6. 商工会議所・商工会										
7. 青年会議所	8. NPO・市民団体										
9. マスコミ	10. その他 ()										
⑥主要事業	※記念式典、港でのイベントなど、上記主催者が実施する主なもの										
⑦関連事業 (主なもの3つ程度)	※プレイベントのシンポジウムなど、主要事業に関連して上記主催者が実施するもの										

	連携先	取組の概要
⑧構成団体以外の 主な連携先 ・取組の概要	例) 開港関連都市、特定の企業など	例) 港に関するブース出店、出演など
⑨集客実績	人（当初の見込み数： 人）	
⑩概算事業費	万円（うち協賛金の割合： %）	

2. 開港記念事業等の「企画・準備」全般について、おたずねします

問 1. 企画・準備段階で、特に苦労したのはどのようなことですか？
（または、何に苦労しそうですか？） ※特にあてはまるもの3つに○

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. テーマ・コンセプトの設定 | 2. 開催日・期間の決定 |
| 3. 寄港船や市外関係者等との交渉 | 4. 市内出演者・出店者との交渉 |
| 5. 会場やアクセス方法の確保 | 6. 市の予算の確保 |
| 7. 協賛金集め | 8. 他都市の事例等の基礎資料収集 |
| 9. その他（ | ） |

問 2. 開催には市民の理解・協力が不可欠だと考えています。市民の主体的参加を進めるために、どのようなことを行いましたか？工夫した点があればお聞かせください。
（または、行う予定ですか？） ※あてはまるものすべてに○

1. プレイバント・講演会等を開催し、港や歴史に対する理解を深めてもらった
2. 市民を対象としたワークショップを開催し、内容を検討した
3. 市民の自発的な事業企画を公募した（プロポーザル提案など）
4. イベント実施内容や助成金を提示して、参加団体を公募した
5. 市民団体等にあらかじめ予算分配を行い、イベントを企画・運営してもらった
6. その他（

工夫した点
（内容をご記入ください）

問3-1. 市民の関心を高めるために、どのような広報を行いましたか？
 (または、行う予定ですか?) ※あてはまるものすべてに○

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. ロゴ・シンボルマークの作成 | 2. マスコットキャラクターの作成 |
| 3. カウントダウン看板等の設置 | 4. ペナント・のぼり旗などによる演出 |
| 5. テレビ・ラジオによるCM | 6. テレビ・新聞・雑誌等での取材・報道 |
| 7. 公共交通機関等での広告 | 8. イメージソング等の作成・利用 |
| 9. 専用ホームページの立ち上げ | 10. 記念グッズ等の開発 |
| 11. 市民ボランティアの公募 | 12. 既存イベント・キャンペーンとの連携 |
| 13. 市報等で港関連コーナーの連載 | |
| 14. その他 () | |

問3-2. 上記のなかで、「特に効果が高かった」と思うものはどれですか？
 3つあげ、工夫した点があればお聞かせください。

特に効果が高かった方法 (該当番号をご記入ください)	番	番	番
工夫した点 (内容をご記入ください)			

3. 開港記念事業等の実施事業について、「主要事業」と「関連事業」ごとにそれぞれおたずねします

問4. 当該地ならでは・〇周年ならではの「特色」を出すために、行政が取り組んだこと(ハード・ソフト)がございましたら、お聞かせください。
 (または、取り組む予定ですか?) ※あてはまるものすべてに○

主要事業	1. 歴史的な建物・街並みの修復 2. 港とまちを結ぶ街路・歩道の整備 3. まちあるきや施設案内等の看板作成 4. まちあるき等のマップ作成 5. 港に関する歴史副読本の教育への活用 6. 開港記念誌の作成 7. モニュメントやシンボルの整備 8. ボランティアガイドの育成 9. 市民団体が連携するきっかけづくり 10. その他 ()
関連事業	1. 歴史的な建物・街並みの修復 2. 港とまちを結ぶ街路・歩道の整備 3. まちあるきや施設案内等の看板作成 4. まちあるき等のマップ作成 5. 港に関する歴史副読本の教育への活用 6. 開港記念誌の作成 7. モニュメントやシンボルの整備 8. ボランティアガイドの育成 9. 市民団体が連携するきっかけづくり 10. その他 ()

問5. 当該地ならではの・〇周年ならではの「特色」を出すために、市民・学校・事業者などが取り組んだことがございましたら、それぞれお聞かせください。
(または、取り組む予定についてお聞かせください)

種類	対 象	事業名・イベント名	準備・当日の役割など
主要事業	一般市民 (自治会・市民団体・NPO等)		例) 歴史クイズラリーを市民ワークショップで作成した
	学 校		例) 歴史学習を通じて、子どもボランティアガイドとして参加した
	事業者 (商店街・企業等)		例) 港からまちに人を呼び込む〇周年に関連したセールを実施した
関連事業	一般市民 (自治会・市民団体・NPO等)		例) 歴史クイズラリーを市民ワークショップで作成した
	学 校		例) 歴史学習を通じて、子どもボランティアガイドとして参加した
	事業者 (商店街・企業等)		例) 港からまちに人を呼び込む〇周年に関連したセールを実施した

問6. 事業準備を進めるにあたり、連携先からどのような要望がありましたか？
 (または、ありますか?) とられた対応も合わせてお聞かせください。

種類	対 象	事業名・イベント名	要望・対応方法
主要事業	一般市民 (自治会・市民団体・NPO等)		例) 市民ボランティア用ユニフォームの提供依頼 →Tシャツを作成・配布した
	学 校		例) 子どもの熱中症対策→飲料を無償提供した
	事業者 (商店街・企業等)		例) 来訪者に対する商店街イベントの周知強化 →会場マップにクーポンを合わせて印刷した
	その他 ()		
関連事業	一般市民 (自治会・市民団体・NPO等)		例) 市民ボランティア用ユニフォームの提供依頼 →Tシャツを作成・配布した
	学 校		例) 子どもの熱中症対策→飲料を無償提供した
	事業者 (商店街・企業等)		例) 来訪者に対する商店街イベントの周知強化 →会場マップにクーポンを合わせて印刷した
	その他 ()		

4. 開港記念事業等の「当日運営」全般について、おたずねします

問7. 来場者に対し、周辺のまちや歴史資源等に誘導するために取り組んだことがありますか？ それらの概要をお聞かせください。(予定を含む)

例：港を発着地とする「まちあるき」を企画した、スタンプラリーを実施した

問8. 当日運営のなかで、どのような問題（想定外の事象含む）が発生しましたか？ また、考えられる原因があればお聞かせください。

当日発生した問題	考えられる原因
例) 見込んだ集客数よりも、かなり少なかった	例) 犯罪や感染症などによる、外出手控えがあった

問9. 「市民参加」や「関係者連携」という視点で、うまくいった点、うまくいかなかった点をお聞かせください。

うまくいった点	例) 市民主体のイベントが多数盛り込めた、評判がよかった
うまくいかなかった点	例) 市民ボランティアが集まらなかった、連絡が行き届かなかった

5. 開港記念事業等の「波及効果」や「今後の課題」について、おたずねします

問 10. 事業の実施により、どのような効果があったと思いますか？
または、期待できますか？ ※あてはまるものすべてに〇

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| 1. 市や港への来訪者が増えた | 2. 市や港のイメージアップにつながった |
| 3. 市や港の歴史・文化について学ぶきっかけになった | 4. 市民同士の交流のきっかけになった |
| 5. 市民と他地域の人々との交流のきっかけになった | 6. 市民活動が盛り上がるきっかけになった |
| 7. 市の経済の活性化に役立った | 8. 子どもたちの学習に役立った |
| 9. その他 () | |

問 11-1. 記念事業をきっかけに、市民や関係者が自発的に取り組み始めたことがありますか？ ※どちらか1つに〇

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1. ある（既存の取組を含む） | 2. ない・わからない |
|-----------------|-------------|

問 11-2. 「ある」を選んだ方にお聞きします。どのようなことに取り組んでいますか？
※あてはまるものすべてに〇をつけ、() 内に概要をお書きください

- | |
|--------------------------|
| 1. 開港地間の連携・交流活動 () |
| 2. 港町の風情を活かした景観まちづくり () |
| 3. 次世代への歴史文化継承活動 () |
| 4. その他 () |

問 12. 「港」をキーワードとしたしたまちづくりを進める上で、今後の課題は何ですか？
※特にあてはまるもの2つに〇

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 核となるような観光拠点づくり | 2. 港町の歴史・文化が感じられる街並みづくり |
| 3. 施設どうして連携する取り組み | 4. 市民全体の意識醸成 |
| 5. 主体的に取り組む市民や市民団体の育成 | 6. 来訪者に向けた効果的な PR や情報発信 |
| 7. その他 () | |

問 13. 市の特徴を活かした新たなまちづくりや取り組みを持続するために行っている方策・支援等がございましたら具体的にお聞かせください。

開港記念事業等実施の34市用 アンケート依頼文・アンケート調査票

中自協第17号
平成28年1月15日

〇〇県〇〇市役所
まちづくり・観光担当課 御中

新潟市中央区自治協議会
会長 豊嶋 直美
(事務局 新潟市中央区役所地域課)

「開港に関する記念事業」に係る調査へのご協力について（依頼）

時下、ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。

新潟湊は、江戸時代から北前船の寄港地として賑わい、人や物や文化がここを拠点に交流しました。明治元年11月19日、安政五カ国条約によって開港地に指定された新潟港が開港し、湊町新潟が世界へ開かれた瞬間でした。

現在、新潟港は国際拠点港湾、中核国際港湾に発展し、東アジアへの玄関口として、また、環日本海交流の拠点として歩んでいます。そして、2019年に開港150周年を迎えます。

新潟市中央区自治協議会では、過去2年間に渡り、かつて北前船寄港地として栄えた新潟湊の賑わいや街並みを、現代そして未来にふさわしい新潟のまちづくりに生かすため、調査、研究、活動を行ってきました。そして、今年度から、いよいよ開港150周年に向けた取組みを始めています。

開港5港をはじめ、全国各地で開港に関する多様で特色ある観光振興やまちづくりが展開されています。この度、開港関連の取組みの特徴や課題などをお伺いすることにより、新潟での開港記念事業や関連するまちづくりに役立てたいと考え、開港に関する記念事業を行っている自治体様を対象に本アンケート調査を実施させていただくことといたしました。インターネット等で概要の把握はできますが、市民参加の状況などを中心に、ご当地もしくはご関係者ならではの忌憚のないご意見・ご感想をお聞かせいただきたく存じます。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、ぜひともご回答を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1 調査内容
「開港に関する記念事業」に関するアンケート調査
- 2 調査票の回答期限
平成28年2月3日（水）

3 調査票の提出先

〒951-8550 新潟県新潟市中央区学校町通1番町602番地1
新潟市中央区自治協議会事務局（新潟市中央区役所地域課内）

4 その他

調査票の返送にあたっては、同封の返信用封筒、FAX、E-mailいずれにおいても可能です。
調査票様式データが必要であれば、下記問い合わせ先までその旨ご連絡願います。

また、ご担当の部署が異なる場合は、お手数お掛けしますが転送していただけますよう、ご協力をお願いいたします。

※「新潟市中央区自治協議会」について

「新潟市中央区自治協議会」は新潟市中央区の区民と行政が一体となって地域の特色あるまちづくりを進めるため、地方自治法に基づいて各区に設置されている新潟市の附属機関です。協議会の委員は、各地域コミュニティ協議会や公共的団体からの選出者、学識経験者や公募委員で構成されています。

【問い合わせ先】

新潟市中央区自治協議会事務局
新潟市中央区役所地域課 企画担当
外川（とがわ）、小柳（こやなぎ）

TEL：025-223-7023 FAX：025-223-3660

E-mail：chiiki.c@city.niigata.lg.jp

「開港に関する記念事業」に関するアンケート調査票

※各設問それぞれ、あてはまるものに○付けや、具体的な内容をご記載ください。

1. 近年、貴所で実施された（される）開港記念事業等の「概要」をお聞かせください

①正式名称・通称											
②テーマ・コンセプト											
③開催日や期間											
④メイン会場											
⑤実施体制	主催者名： (事務局：)										
	構成団体等 ※あてはまるものすべてに○	<table border="0"> <tr> <td>1. 国</td> <td>2. 都道府県</td> </tr> <tr> <td>3. 市町村</td> <td>4. 観光協会</td> </tr> <tr> <td>5. 港湾振興協会</td> <td>6. 商工会議所・商工会</td> </tr> <tr> <td>7. 青年会議所</td> <td>8. NPO・市民団体</td> </tr> <tr> <td>9. マスコミ</td> <td>10. その他 ()</td> </tr> </table>	1. 国	2. 都道府県	3. 市町村	4. 観光協会	5. 港湾振興協会	6. 商工会議所・商工会	7. 青年会議所	8. NPO・市民団体	9. マスコミ
1. 国	2. 都道府県										
3. 市町村	4. 観光協会										
5. 港湾振興協会	6. 商工会議所・商工会										
7. 青年会議所	8. NPO・市民団体										
9. マスコミ	10. その他 ()										
⑥主要事業	※記念式典、港でのイベントなど、上記主催者が実施する主なもの										
⑦関連事業 (主なもの3つ程度)	※プレイベントのシンポジウムなど、主要事業に関連して上記主催者が実施するもの										

問3-1. 市民の関心を高めるために、どのような広報を行いましたか？
 (または、行う予定ですか?) ※あてはまるものすべてに○

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. ロゴ・シンボルマークの作成 | 2. マスコットキャラクターの作成 |
| 3. カウントダウン看板等の設置 | 4. ペナント・のぼり旗などによる演出 |
| 5. テレビ・ラジオによるCM | 6. テレビ・新聞・雑誌等での取材・報道 |
| 7. 公共交通機関等での広告 | 8. イメージソング等の作成・利用 |
| 9. 専用ホームページの立ち上げ | 10. 記念グッズ等の開発 |
| 11. 市民ボランティアの公募 | 12. 既存イベント・キャンペーンとの連携 |
| 13. 市報等で港関連コーナーの連載 | |
| 14. その他 () | |

問3-2. 上記のなかで、「特に効果が高かった」と思うものはどれですか？
 3つあげ、工夫した点があればお聞かせください。

特に効果が高かった方法 (該当番号をご記入ください)	番	番	番
工夫した点 (内容をご記入ください)			

3. 開港記念事業等の実施事業について、「主要事業」と「関連事業」ごとにそれぞれおたずねします

問4. 当該地ならでは・〇周年ならではの「特色」を出すために、行政が取り組んだこと(ハード・ソフト)がございましたら、お聞かせください。
 (または、取り組む予定ですか?) ※あてはまるものすべてに○

主要事業	1. 歴史的な建物・街並みの修復 2. 港とまちを結ぶ街路・歩道の整備 3. まちあるきや施設案内等の看板作成 4. まちあるき等のマップ作成 5. 港に関する歴史副読本の教育への活用 6. 開港記念誌の作成 7. モニュメントやシンボルの整備 8. ボランティアガイドの育成 9. 市民団体が連携するきっかけづくり 10. その他 ()
関連事業	1. 歴史的な建物・街並みの修復 2. 港とまちを結ぶ街路・歩道の整備 3. まちあるきや施設案内等の看板作成 4. まちあるき等のマップ作成 5. 港に関する歴史副読本の教育への活用 6. 開港記念誌の作成 7. モニュメントやシンボルの整備 8. ボランティアガイドの育成 9. 市民団体が連携するきっかけづくり 10. その他 ()

問5. 当該地ならではの・〇周年ならではの「特色」を出すために、市民・学校・事業者などが取り組んだことがございましたら、それぞれお聞かせください。
 (または、取り組む予定についてお聞かせください)

種類	対 象	事業名・イベント名	準備・当日の役割など
主要事業	一般市民 (自治会・市民団体・NPO等)		例) 歴史クイズラリーを市民ワークショップで作成した
	学 校		例) 歴史学習を通じて、子どもボランティアガイドとして参加した
	事業者 (商店街・企業等)		例) 港からまちに人を呼び込む〇周年に関連したセールを実施した
関連事業	一般市民 (自治会・市民団体・NPO等)		例) 歴史クイズラリーを市民ワークショップで作成した
	学 校		例) 歴史学習を通じて、子どもボランティアガイドとして参加した
	事業者 (商店街・企業等)		例) 港からまちに人を呼び込む〇周年に関連したセールを実施した

4. 開港記念事業等の「当日運営」全般について、おたずねします

問6. 「市民参加」や「関係者連携」という視点で、うまくいった点、うまくいかなかった点をお聞かせください。	
うまくいった点	例) 市民主体のイベントが多数盛り込めた、評判がよかった
うまくいかなかった点	例) 市民ボランティアが集まらなかった、連絡が行き届かなかった

5. 開港記念事業等の「波及効果」や「今後の課題」について、おたずねします

問7. 事業の実施により、どのような効果があったと思いますか？ または、期待できますか？ ※ <u>あてはまるものすべてに〇</u>	
1. 市や港への来訪者が増えた	2. 市や港のイメージアップにつながった
3. 市や港の歴史・文化について学ぶきっかけになった	4. 市民同士の交流のきっかけになった
5. 市民と他地域の人々との交流のきっかけになった	6. 市民活動が盛り上がるきっかけになった
7. 市の経済の活性化に役立った	8. 子どもたちの学習に役立った
9. その他 ()	

問8-1. 記念事業をきっかけに、市民や関係者が自発的に取り組み始めたことがありますか？ ※ <u>どちらか1つに〇</u>	
1. ある（既存の取組を含む）	2. ない・わからない
問8-2. 「ある」を選んだ方にお聞きします。どのようなことに取り組んでいますか？ ※ <u>あてはまるものすべてに〇</u> をつけ、() 内に概要をお書きください	
1. 開港地間の連携・交流活動 ()	
2. 港町の風情を活かした景観まちづくり ()	
3. 次世代への歴史文化継承活動 ()	
4. その他 ()	

問9. 「港」をキーワードとしたしたまちづくりを進める上で、今後の課題は何ですか？
※特にあてはまるもの2つに○

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 核となるような観光拠点づくり | 2. 港町の歴史・文化が感じられる街並みづくり |
| 3. 施設どうして連携する取り組み | 4. 市民全体の意識醸成 |
| 5. 主体的に取り組む市民や市民団体の育成 | 6. 来訪者に向けた効果的なPRや情報発信 |
| 7. その他（ | |

問10. 市の特徴を活かした新たなまちづくりや取り組みを持続するために行っている方策・支援等がございましたら具体的にお聞かせください。

6. 「新潟港開港 150 周年記念事業の開催」について、おたずねします

問11. 新潟港開港 150 周年事業の開催にあたり、先進地としてのアドバイス等がございましたらお聞かせください。

■ご回答いただいた方のごことについて、おたずねします。

部署名		ご担当者名	
ご連絡先	電話：	FAX：	

～ご協力ありがとうございました。～

この調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**2月3日(水)まで**に、投函してください。

平成 27 年度 開港 150 周年記念事業等調査 報告書

作 成／平成 28 年 3 月

作成者／新潟市中央区自治協議会 水辺とみなとのまち部会

【事務局】 新潟市中央区役所地域課 企画担当

〒951-8550

新潟市中央区学校町通 1 番町 602-1

T E L : 025-223-7023

F A X : 025-223-3660

E-Mail : chiiki.c@city.niigata.lg.jp